

企業経営者意識調査

令和4年4-6月の概要

P 1

調査結果

- | | | |
|---|---------------|------|
| 1 | 経営状況 | P 4 |
| 2 | 雇用状況 | P 8 |
| 3 | 在庫、価格水準 | P 12 |
| 4 | 設備投資の状況 | P 14 |
| 5 | 地域別にみる各産業の動向 | P 16 |
| 6 | 道内の景況感 | P 24 |
| 7 | 業種・地域別企業経営者の声 | P 25 |
| 8 | 業況感の長期推移 | P 31 |
- 

特別調査

- | | | |
|---|--------------------------|------|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について | P 32 |
| 2 | 原油・原材料価格高騰の影響について | P 40 |
| 3 | ウクライナ情勢の影響について | P 41 |

調査方法

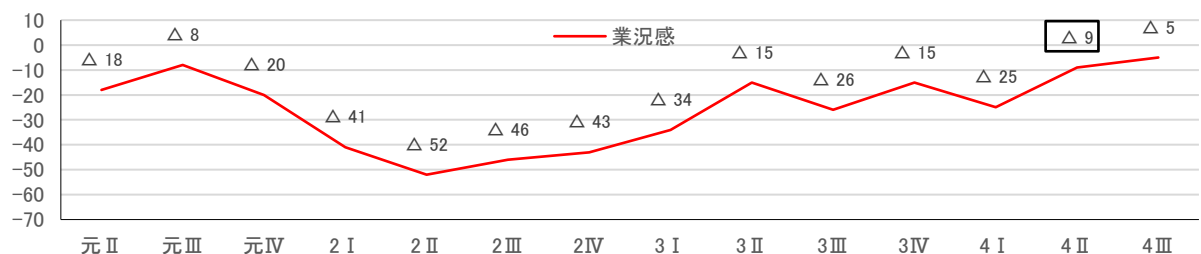
P 42

1 令和4年4-6月の概要

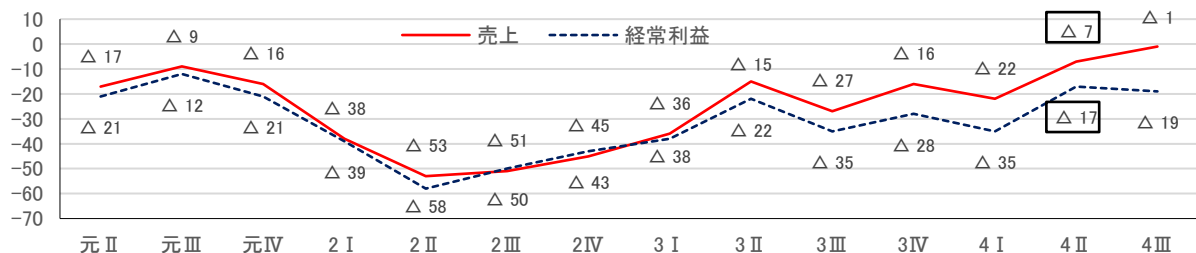
1 概況

- 調査対象企業数 900 社、回答社数 561 社、回答率 62.3%。
- 業況感は、前期から 16 ポイント上昇し△9 ポイント。来期見通しは△5 ポイント。
- 売上は、前期から 15 ポイント上昇し△7 ポイント。
- 経常利益は、前期から 18 ポイント上昇し△17 ポイント。
- 資金繰りは、前期から 8 ポイントし△8 ポイント。
- 雇用者の不足感は、前期から 1 ポイント上昇し 37 ポイント。
- 原材料価格（製造業）は、前期から 1 ポイント上昇し 89 ポイント。
- 仕入価格（卸売・小売業）は、前期から 15 ポイント上昇し 76 ポイント。
- 道内の景況感は、前期から 36 ポイント上昇し△8 ポイント。

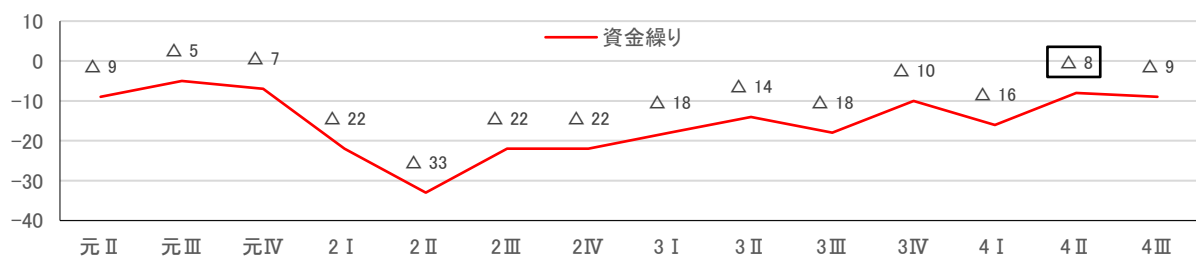
(1) 業況感（「上昇」－「下降」）



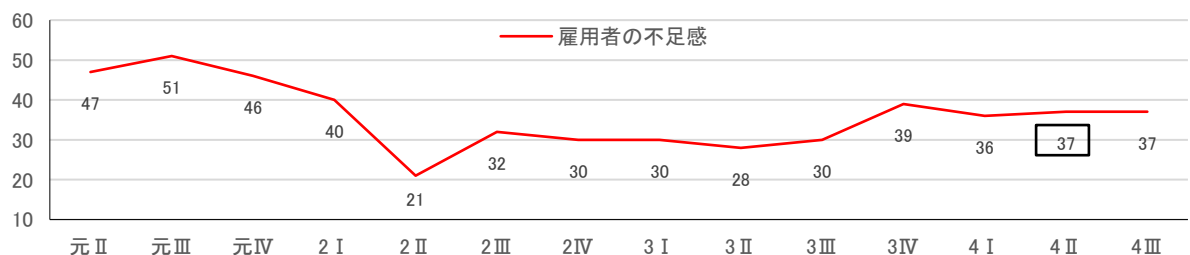
(2) 売上・経常利益（「増加」－「減少」）



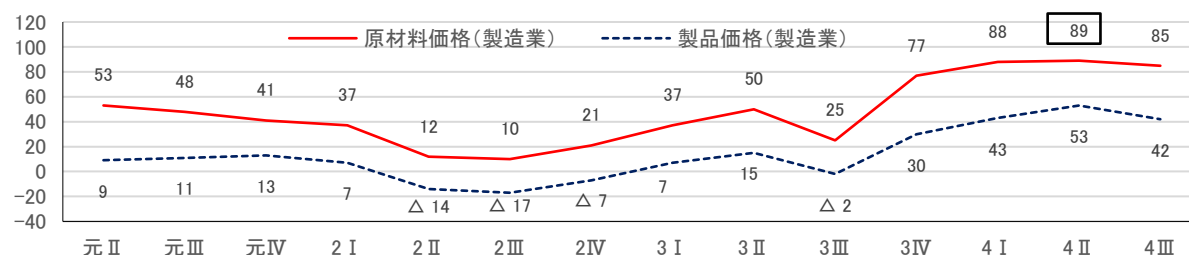
(3) 資金繰り（「改善」－「悪化」）



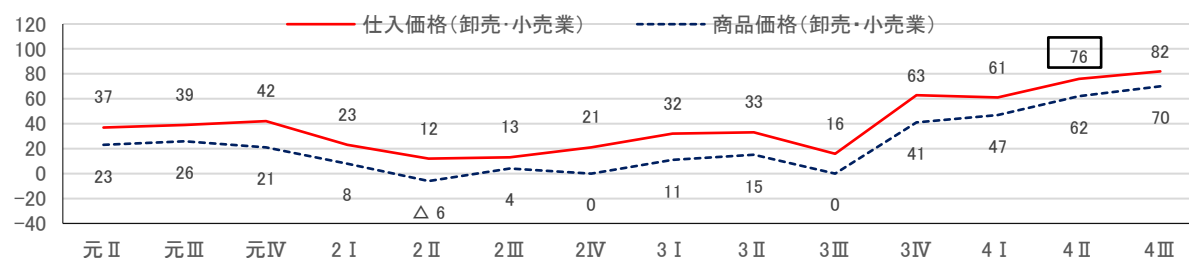
(4) 雇用者の不足感（「不足」－「過剰」）



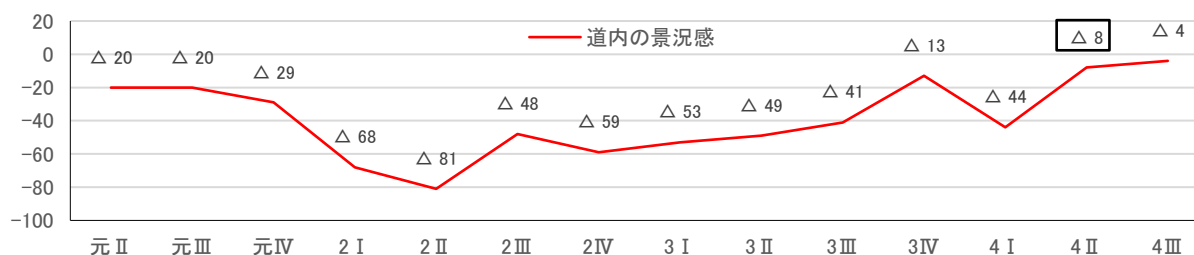
(5) 原材料価格・製品価格〔製造業〕(「上昇」－「下降」)



(6) 仕入価格・商品価格〔卸売・小売業〕(「上昇」－「下降」)



(7) 道内の景況感(「上昇」－「下降」)



2 業種別・地域別の業況感

- ☐ 業種別では、建設業で横ばい、その他の業種で上昇。
- ☐ 地域別では、オホーツク地域で下降し、その他の地域で上昇。

(1) 今期実績と来期見通し

区 分	R4年 1-3月 実績	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総 計	△ 25	16	59	25	△ 9	16	16	63	21	△ 5	4
業 種	建設業	△ 12	7	74	19	△ 12	0	7	69	24	△ 17
	製造業	△ 23	11	58	31	△ 20	3	10	63	27	△ 17
	卸売・小売業	△ 37	18	57	25	△ 7	30	17	59	24	△ 7
	運輸業	△ 30	22	52	26	△ 4	26	20	62	18	2
	サービス業	△ 22	21	55	24	△ 3	19	21	64	15	6
資 本 金	5千万円未満	△ 28	14	57	29	△ 15	13	14	63	23	△ 9
	5千万円以上～1億円未満	△ 24	22	57	21	1	25	22	62	16	6
	1億円以上	△ 12	18	69	13	5	17	17	66	17	0
地 域	道南	△ 29	16	60	24	△ 8	21	12	67	21	△ 9
	道央	△ 30	20	56	24	△ 4	26	20	61	19	1
	道北	△ 16	21	52	27	△ 6	10	15	64	21	△ 6
	オホーツク	△ 13	11	59	30	△ 19	△ 6	16	54	30	△ 14
	十勝	△ 17	9	74	17	△ 8	9	16	68	16	0
	釧路・根室	△ 31	7	64	29	△ 22	9	4	70	26	△ 22

(2) 業種別の主な上昇・下降業種 [中分類]

(括弧内の数字は、前期→今期の変化)

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 (△12→△12)		総合工事業 (△12→△13)
製造業 (△23→△20)	食料品製造業 (△27→△7) 金属製品製造業 (△44→△33)	木材・木製品製造業 (63→57) 窯業・土石製品製造業 (△18→△20)
卸売・小売業 (△37→△7)	飲食料品卸売業 (△32→20) 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 (△39→0) 機械器具小売業 (△53→△42) その他の小売業 (△25→△16)	
運輸業 (△30→△4)	道路旅客運送業 (△48→33) 倉庫業 (△18→6)	道路貨物運送業 (△28→△38)
サービス業 (△22→△3)	情報サービス業 (△12→△5) 技術サービス業 (△20→△11) 宿泊業 (△6→34)、飲食店 (△69→8) 洗濯・理容・美容・浴場業 (△58→△31) 自動車整備業 (△40→△23)	物品賃貸業 (△9→△15) 廃棄物処理業 (0→△14) 職業紹介・労働者派遣業 (△20→△40)

(3) 地域別の上昇・下降業種 [大分類]

(括弧内の数字は、前期→今期の変化)

地 域	上昇業種	下降業種
道南 (△29→△8)	製造業 (△13→△6) 卸売・小売業 (△40→△15) 運輸業 (△38→△13) サービス業 (△38→5)	
道央 (△30→△4)	建設業 (△20→△12) 製造業 (△36→△25) 卸売・小売業 (△47→2) 運輸業 (△30→7) サービス業 (△21→0)	
道北 (△16→△6)	卸売・小売業 (△7→0) 運輸業 (△46→△9) サービス業 (△21→4)	製造業 (△17→△27)
オホーツク (△13→△19)	製造業 (△18→0) 卸売・小売業 (△36→△20)	建設業 (△22→△38) 運輸業 (△16→△34) サービス業 (30→0)
十勝 (△17→△8)	製造業 (△8→0) 卸売・小売業 (△40→△8) 運輸業 (△25→9)	建設業 (0→△20)
釧路・根室 (△31→△22)	建設業 (△10→0) 運輸業 (△34→△8) サービス業 (△43→△29)	製造業 (△25→△40)

(2) 売上 (生産) 高

今期の売上（生産）高BSIは△7（前期から15ポイント上昇）

- ・業種別でみると、卸売・小売業がプラスに転換、製造業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でマイナス幅が拡大、
- ・地域別でみると、道南、道央、道北、十勝でマイナス幅が縮小、オホーツク、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の売上（生産）高BSIは△1（今期から6ポイント上昇）

図1-(2) 売上(生産)高

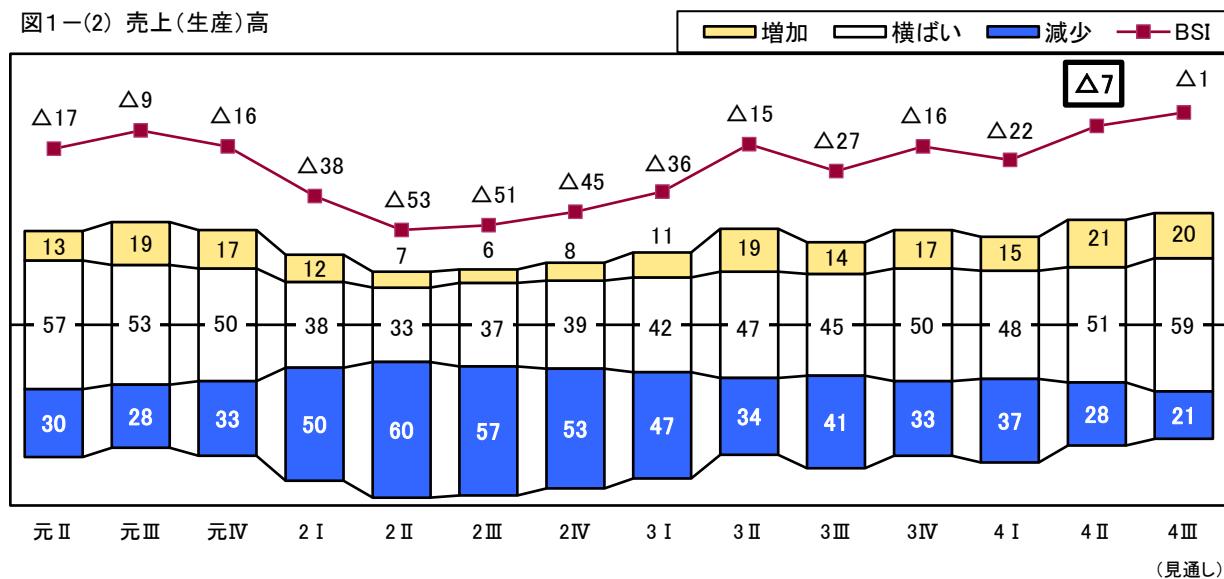


表1-(2) 売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

区 分		R4年 1～3月 実績	R4年4～6月実績					R4年7～9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 22	21	51	28	△ 7	15	20	59	21	△ 1	6
札幌市を除く		△ 21	19	53	28	△ 9	12	18	59	23	△ 5	4
札幌市		△ 24	26	47	27	△ 1	23	27	57	16	11	12
業 種	建設業	△ 18	8	65	27	△ 19	△ 1	8	64	28	△ 20	△ 1
	製造業	△ 17	18	51	31	△ 13	4	14	63	23	△ 9	4
	卸売・小売業	△ 27	30	41	29	1	28	27	49	24	3	2
	運輸業	△ 23	23	49	28	△ 5	18	19	63	18	1	6
	サービス業	△ 24	23	50	27	△ 4	20	26	56	18	8	12
資 本 金	5千万円未満	△ 27	18	50	32	△ 14	13	17	58	25	△ 8	6
	5千万以上～1億円未満	△ 25	23	53	24	△ 1	24	24	61	15	9	10
	1億円以上	5	30	57	13	17	12	28	59	13	15	△ 2
地 域	道南	△ 36	21	51	28	△ 7	29	19	60	21	△ 2	5
	道央	△ 26	24	48	28	△ 4	22	27	54	19	8	12
	札幌市を除く	△ 29	21	50	29	△ 8	21	26	51	23	3	11
	札幌市	△ 24	26	47	27	△ 1	23	27	57	16	11	12
	道北	△ 16	28	43	29	△ 1	15	15	61	24	△ 9	△ 8
	オホーツク	△ 7	16	48	36	△ 20	△ 13	20	50	30	△ 10	10
	十勝	△ 14	12	68	20	△ 8	6	14	64	22	△ 8	0
	釧路・根室	△ 18	10	61	29	△ 19	△ 1	7	73	20	△ 13	6

(3) 経常利益

今期の経常利益BSIは△17（前期から18ポイント上昇）

- ・業種別でみると、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、製造業で横ばい、建設業でマイナス幅拡大
- ・地域別でみると、道南、道央、道北、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、オホーツクでマイナス幅が拡大

来期の経常利益BSIは△19（今期から2ポイント下降）

図1-(3) 経常利益

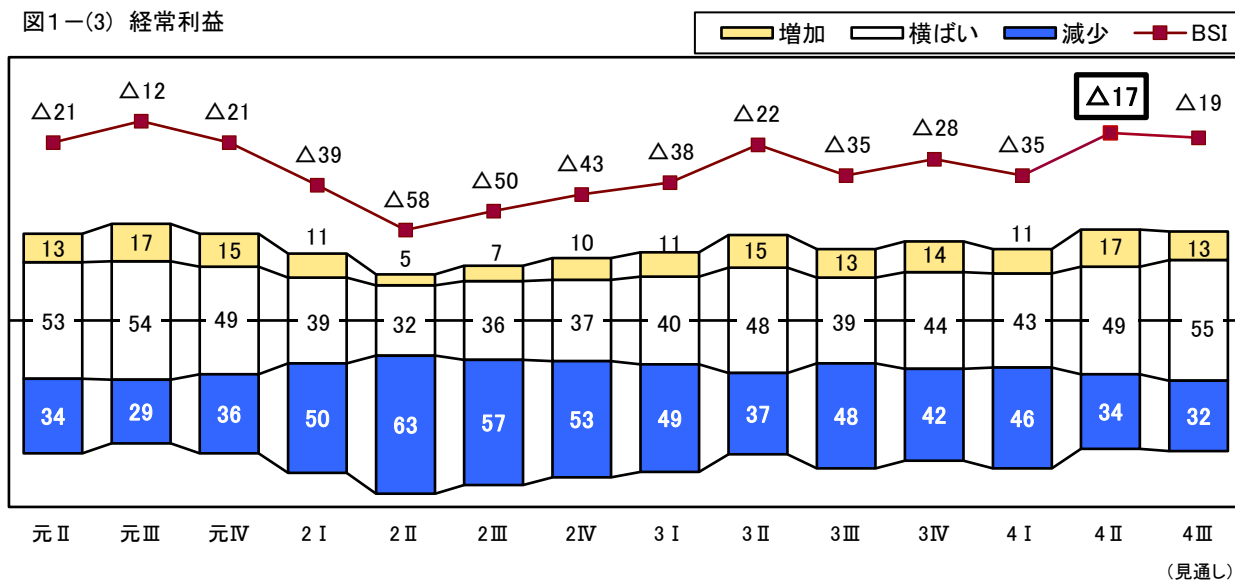


表1-(3) 経常利益(業種・資本金・地域別)

区 分	R4年 1-3月 実績	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	△ 35	17	49	34	△ 17	18	13	55	32	△ 19	△ 2
札幌市を除く	△ 34	15	49	36	△ 21	13	11	57	32	△ 21	0
札幌市	△ 33	23	47	30	△ 7	26	20	51	29	△ 9	△ 2
業 種											
建設業	△ 23	7	62	31	△ 24	△ 1	6	63	31	△ 25	△ 1
製造業	△ 36	13	38	49	△ 36	0	7	50	43	△ 36	0
卸売・小売業	△ 37	23	45	32	△ 9	28	13	53	34	△ 21	△ 12
運輸業	△ 47	16	51	33	△ 17	30	16	50	34	△ 18	△ 1
サービス業	△ 32	22	48	30	△ 8	24	19	58	23	△ 4	4
資 本 金											
5千万円未満	△ 38	15	48	37	△ 22	16	11	55	34	△ 23	△ 1
5千万以上～1億円未満	△ 36	20	48	32	△ 12	24	16	55	29	△ 13	△ 1
1億円以上	△ 15	23	50	27	△ 4	11	19	58	23	△ 4	0
地 域											
道南	△ 47	15	44	41	△ 26	21	9	53	38	△ 29	△ 3
道央	△ 37	21	48	31	△ 10	27	18	53	29	△ 11	△ 1
札幌市を除く	△ 41	19	49	32	△ 13	28	17	54	29	△ 12	1
札幌市	△ 33	23	47	30	△ 7	26	20	51	29	△ 9	△ 2
道北	△ 29	22	43	35	△ 13	16	10	59	31	△ 21	△ 8
オホーツク	△ 25	9	43	48	△ 39	△ 14	11	46	43	△ 32	7
十勝	△ 27	14	57	29	△ 15	12	12	66	22	△ 10	5
釧路・根室	△ 38	7	57	36	△ 29	9	3	61	36	△ 33	△ 4

(4) 資金繰り

今期の資金繰りBSIは△8（前期から8ポイント上昇）

- ・業種別にみると、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業でプラス幅が縮小、製造業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、全ての地域でマイナス幅が縮小

来期の資金繰りBSIは△9（今期から1ポイント下降）

図1-(4) 資金繰り

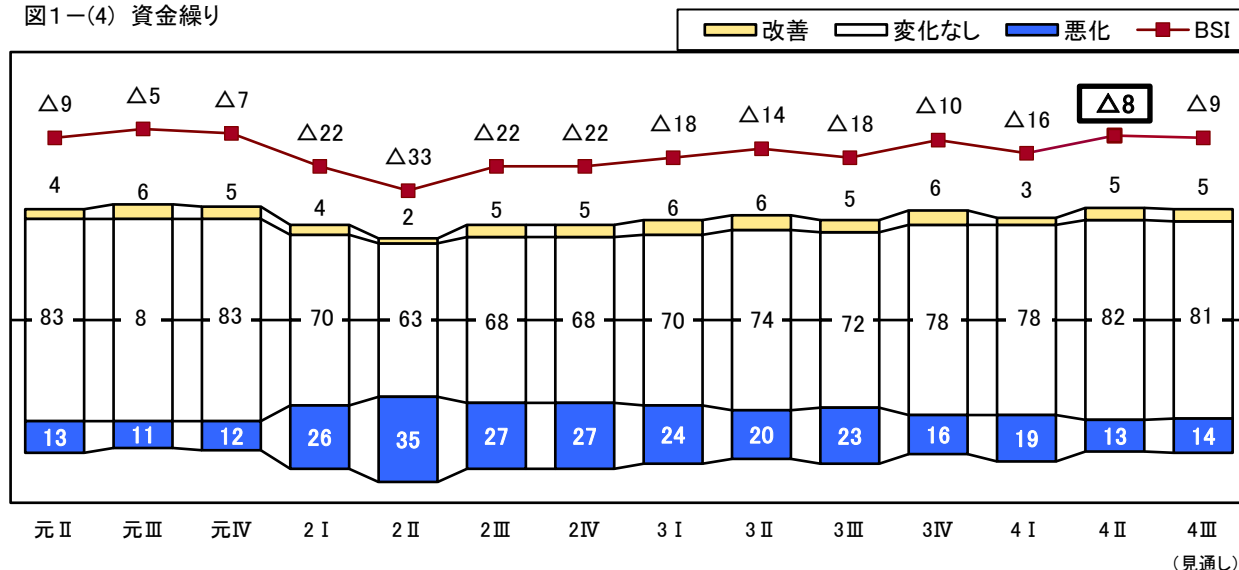


表1-(4) 資金繰り(業種・資本金・地域別)

区 分	R4年 1-3月 実績	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
		改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総 計	△ 16	5	82	13	△ 8	8	5	81	14	△ 9	△ 1
札幌市を除く	△ 15	4	82	14	△ 10	5	4	81	15	△ 11	△ 1
札幌市	△ 18	6	81	13	△ 7	11	6	83	11	△ 5	2
業 種											
建設業	3	3	95	2	1	△ 2	0	92	8	△ 8	△ 9
製造業	△ 19	0	80	20	△ 20	△ 1	1	84	15	△ 14	6
卸売・小売業	△ 14	7	84	9	△ 2	12	7	80	13	△ 6	△ 4
運輸業	△ 16	4	83	13	△ 9	7	6	78	16	△ 10	△ 1
サービス業	△ 25	7	75	18	△ 11	14	7	78	15	△ 8	3
資 本 金											
5千万円未満	△ 20	3	80	17	△ 14	6	3	79	18	△ 15	△ 1
5千万以上～1億円未満	△ 7	9	85	6	3	10	10	83	7	3	0
1億円以上	△ 7	6	89	5	1	8	5	90	5	0	△ 1
地 域											
道南	△ 21	3	84	13	△ 10	11	3	81	16	△ 13	△ 3
道央	△ 17	7	79	14	△ 7	10	7	81	12	△ 5	2
札幌市を除く	△ 17	8	77	15	△ 7	10	8	78	14	△ 6	1
札幌市	△ 18	6	81	13	△ 7	11	6	83	11	△ 5	2
道北	△ 10	4	83	13	△ 9	1	2	85	13	△ 11	△ 2
オホーツク	△ 17	5	81	14	△ 9	8	2	75	23	△ 21	△ 12
十勝	△ 12	2	86	12	△ 10	2	3	87	10	△ 7	3
釧路・根室	△ 16	2	84	14	△ 12	4	3	82	15	△ 12	0

2 雇用状況

(1) 雇用者総数

今期の雇用者総数BSIは △ 5（前期から8ポイント上昇）

- ・業種別にみると、建設業、卸売・小売業でプラスに転換、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、製造業で横ばい
- ・地域別にみると、道央、道北、オホーツク、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道南で横ばい、十勝でマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数BSIは △1（今期から4ポイント上昇）

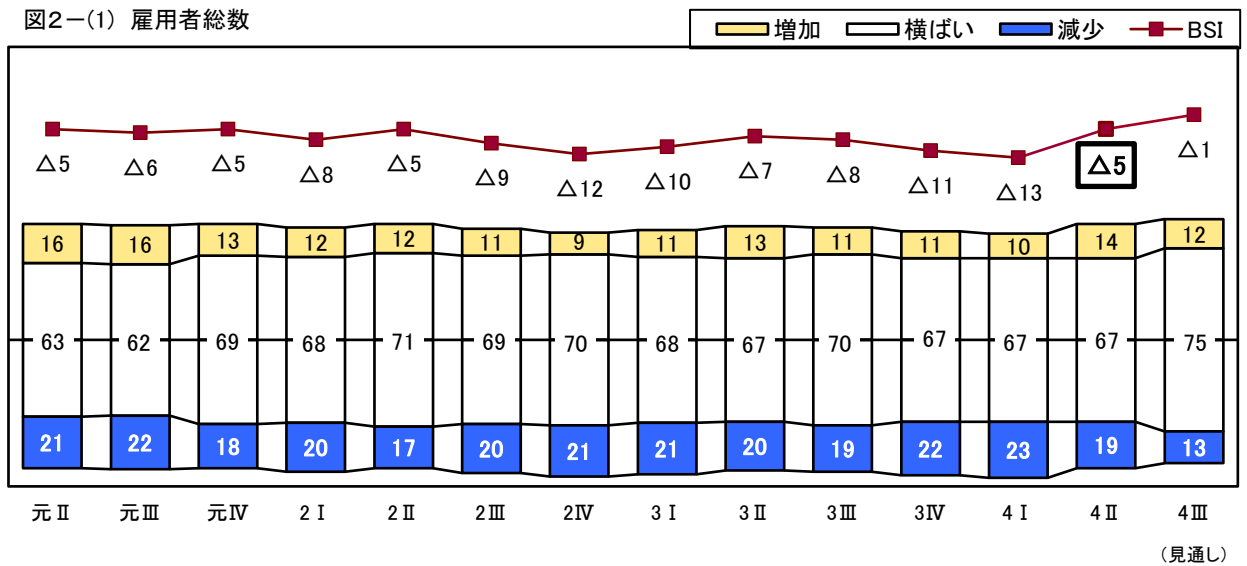


表2-(1) 雇用者総数(業種・資本金・地域別)

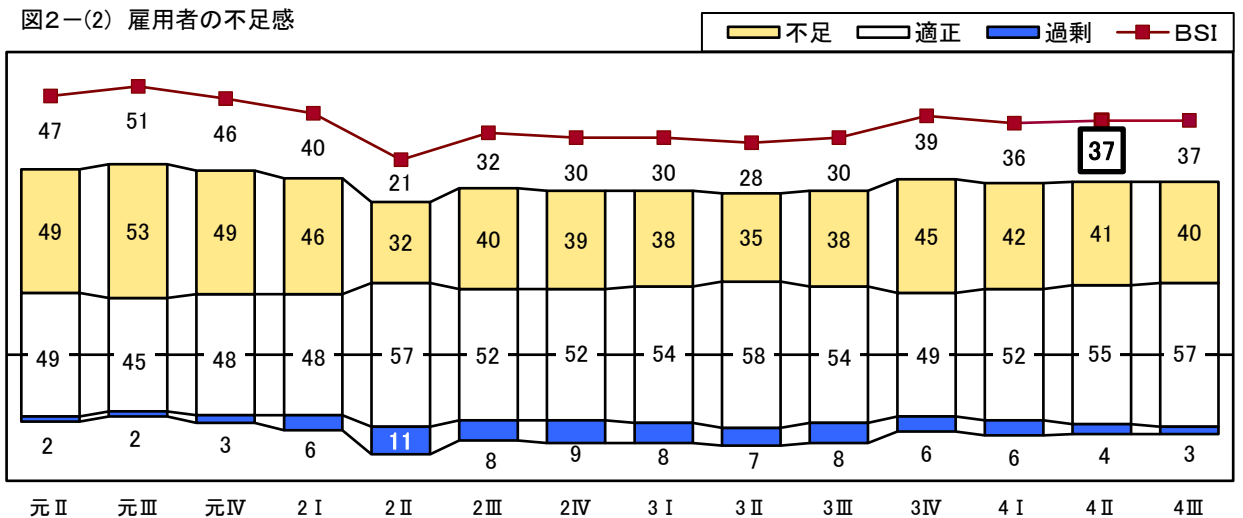
区 分		R4年 1-3月 実績	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計		△ 13	14	67	19	△ 5	8	12	75	13	△ 1	4
業 種	札幌市を除く	△ 13	13	67	20	△ 7	6	10	76	14	△ 4	3
	札幌市	△ 11	20	63	17	3	14	18	73	9	9	6
	建設業	△ 7	22	63	15	7	14	10	84	6	4	△ 3
	製造業	△ 17	12	59	29	△ 17	0	12	68	20	△ 8	9
	卸売・小売業	△ 6	13	76	11	2	8	12	80	8	4	2
	運輸業	△ 17	7	73	20	△ 13	4	6	79	15	△ 9	4
	サービス業	△ 14	16	63	21	△ 5	9	15	69	16	△ 1	4
	資 本 金	5千万円未満	△ 12	13	66	21	△ 8	4	10	75	15	△ 5
	5千万円以上～1億円未満	△ 15	17	64	19	△ 2	13	14	75	11	3	5
	1億円以上	△ 14	15	72	13	2	16	16	75	9	7	5
地 域	道南	△ 8	9	74	17	△ 8	0	6	80	14	△ 8	0
	道央	△ 15	16	65	19	△ 3	12	14	76	10	4	7
	札幌市を除く	△ 19	13	66	21	△ 8	11	10	79	11	△ 1	7
	札幌市	△ 11	20	63	17	3	14	18	73	9	9	6
	道北	△ 16	15	60	25	△ 10	6	14	67	19	△ 5	5
	オホーツク	△ 8	11	75	14	△ 3	5	5	74	21	△ 16	△ 13
	十勝	0	15	65	20	△ 5	△ 5	15	73	12	3	8
	釧路・根室	△ 19	10	71	19	△ 9	10	5	81	14	△ 9	0

(2) 雇用者の不足感

今期の雇用者の不足感BSIは37（前期から1ポイント上昇）

- ・業種別にみると、サービス業でプラス幅が拡大、製造業で横ばい、建設業、卸売・小売業、運輸業でプラス幅が縮小
- ・地域別にみると、道央、道北、十勝でプラス幅が拡大、道南、オホーツク、釧路・根室でプラス幅が縮小

来期の雇用者の不足感BSIは37（今期から横ばい）



(見通し)

表2-(2) 雇用者の不足感(業種・資本金・地域別)

区 分		R4年 1-3月 実績	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総 計		36	41	55	4	37	1	40	57	3	37	0
札幌市を除く		38	41	55	4	37	△ 1	40	57	3	37	0
札幌市		30	40	54	6	34	4	38	57	5	33	△ 1
業 種	建設業	58	57	43	0	57	△ 1	58	42	0	58	1
	製造業	34	40	54	6	34	0	36	58	6	30	△ 4
	卸売・小売業	30	33	62	5	28	△ 2	33	63	4	29	1
	運輸業	44	47	47	6	41	△ 3	48	50	2	46	5
	サービス業	25	35	60	5	30	5	33	64	3	30	0
資 本 金	5千万円未満	31	39	56	5	34	3	39	57	4	35	1
	5千万以上～1億円未満	50	45	50	5	40	△ 10	43	54	3	40	0
	1億円以上	39	44	52	4	40	1	39	58	3	36	△ 4
地 域	道南	37	39	58	3	36	△ 1	35	65	0	35	△ 1
	道央	30	39	54	7	32	2	37	58	5	32	0
	札幌市を除く	31	38	54	8	30	△ 1	36	59	5	31	1
	札幌市	30	40	54	6	34	4	38	57	5	33	△ 1
	道北	41	47	48	5	42	1	47	48	5	42	0
	オホーツク	43	39	61	0	39	△ 4	40	60	0	40	1
	十勝	44	47	51	2	45	1	51	47	2	49	4
	釧路・根室	35	36	62	2	34	△ 1	32	66	2	30	△ 4

(3) 残業時間

今期の残業時間BSIは△9（前期から11ポイント上昇）

- ・業種別にみると、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業、製造業でマイナス幅が拡大
- ・地域別にみると、道南、道央、十勝でマイナス幅が縮小、道北、釧路・根室で横ばい、オホーツクでマイナス幅が拡大

来期の残業時間BSIは△6（今期から3ポイント上昇）

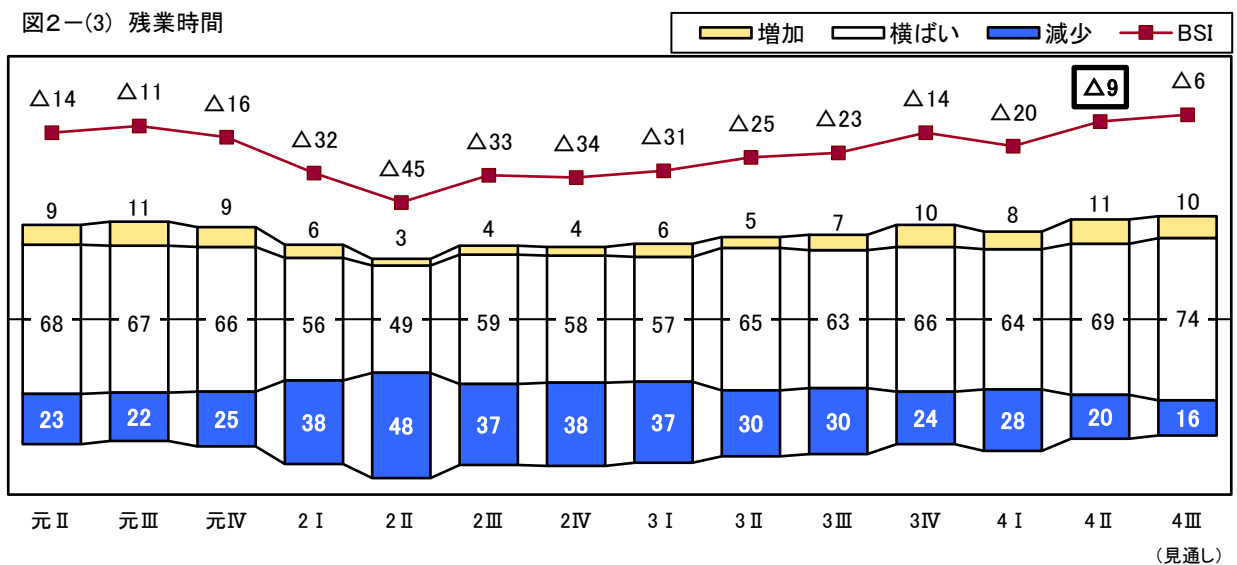


表2-(3) 残業時間(業種・資本金・地域別)

区 分	R4年 1-3月 実績	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	△ 20	11	69	20	△ 9	11	10	74	16	△ 6	3
札幌市を除く	△ 20	10	69	21	△ 11	9	9	74	17	△ 8	3
札幌市	△ 18	13	69	18	△ 5	13	14	72	14	0	5
業 種											
建設業	△ 22	2	72	26	△ 24	△ 2	3	77	20	△ 17	7
製造業	△ 12	10	61	29	△ 19	△ 7	11	69	20	△ 9	10
卸売・小売業	△ 14	11	78	11	0	14	9	81	10	△ 1	△ 1
運輸業	△ 23	13	71	16	△ 3	20	16	71	13	3	6
サービス業	△ 24	13	68	19	△ 6	18	12	71	17	△ 5	1
資 本 金											
5千万円未満	△ 23	9	69	22	△ 13	10	9	73	18	△ 9	4
5千万以上～1億円未満	△ 20	11	68	21	△ 10	10	13	74	13	0	10
1億円以上	0	15	77	8	7	7	13	74	13	0	△ 7
地 域											
道南	△ 23	12	67	21	△ 9	14	9	79	12	△ 3	6
道央	△ 22	13	69	18	△ 5	17	12	71	17	△ 5	0
札幌市を除く	△ 26	13	68	19	△ 6	20	10	70	20	△ 10	△ 4
札幌市	△ 18	13	69	18	△ 5	13	14	72	14	0	5
道北	△ 14	10	66	24	△ 14	0	12	73	15	△ 3	11
オホーツク	△ 13	5	68	27	△ 22	△ 9	7	71	22	△ 15	7
十勝	△ 19	12	74	14	△ 2	17	8	80	12	△ 4	△ 2
釧路・根室	△ 19	2	77	21	△ 19	0	5	76	19	△ 14	5

(4) 1人当たり賃金

今期の1人当たり賃金BSIは35（前期から13ポイント上昇）

- ・業種別にみると、全ての業種でプラス幅が拡大
- ・地域別にみると、道央、道北、オホーツク、十勝でプラス幅が拡大、道南、釧路・根室でプラス幅が縮小

来期の1人当たり賃金BSIは33（今期から2ポイント下降）

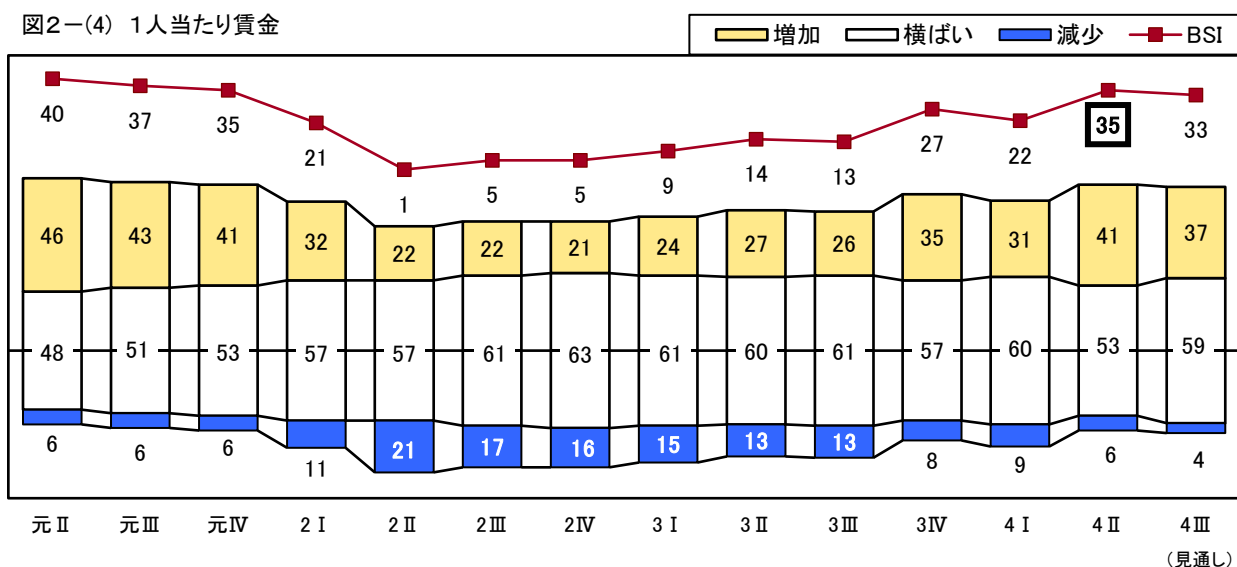


表2-(4) 1人当たり賃金(業種・資本金・地域別)

区 分	R4年 1-3月 実績	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総 計	22	41	53	6	35	13	37	59	4	33	△ 2
札幌市を除く	22	39	56	5	34	12	35	60	5	30	△ 4
札幌市	21	48	46	6	42	21	43	53	4	39	△ 3
業 種											
建設業	37	56	42	2	54	17	49	51	0	49	△ 5
製造業	30	46	48	6	40	10	37	58	5	32	△ 8
卸売・小売業	27	41	56	3	38	11	35	62	3	32	△ 6
運輸業	1	30	58	12	18	17	30	60	10	20	2
サービス業	15	37	57	6	31	16	34	61	5	29	△ 2
資 本 金											
5千万円未満	20	39	55	6	33	13	33	61	6	27	△ 6
5千万以上～1億円未満	26	45	49	6	39	13	47	50	3	44	5
1億円以上	22	48	51	1	47	25	39	60	1	38	△ 9
地 域											
道南	24	28	66	6	22	△ 2	24	73	3	21	△ 1
道央	14	41	53	6	35	21	37	58	5	32	△ 3
札幌市を除く	7	34	61	5	29	22	30	65	5	25	△ 4
札幌市	21	48	46	6	42	21	43	53	4	39	△ 3
道北	27	48	47	5	43	16	39	56	5	34	△ 9
オホーツク	24	43	50	7	36	12	51	44	5	46	10
十勝	26	47	48	5	42	16	41	54	5	36	△ 6
釧路・根室	37	37	58	5	32	△ 5	34	61	5	29	△ 3

3 在庫、価格水準

(1) 製造業

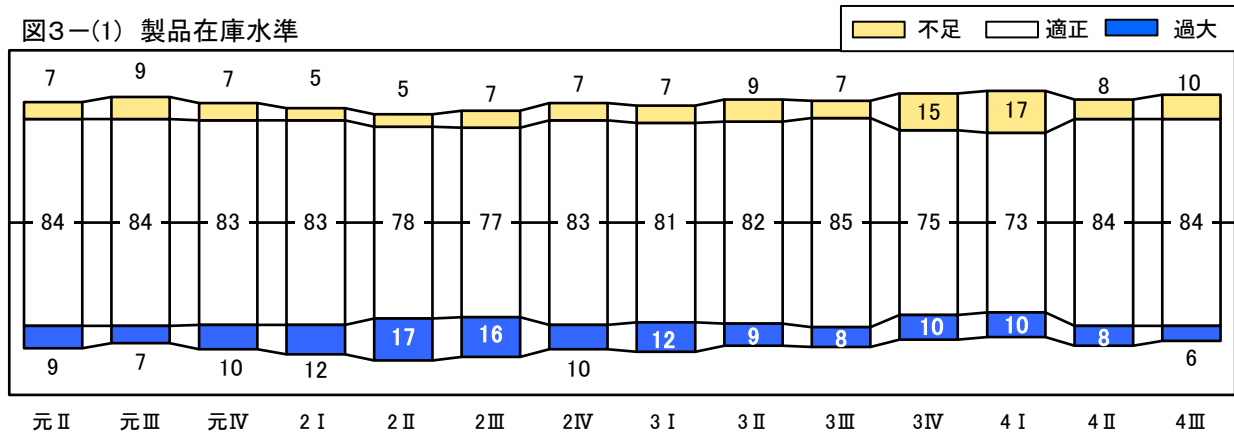
今期の実績

- ・ 製品在庫水準は、前期と比べ、「適正」が拡大、「不足」、「過大」が縮小
- ・ 仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「下降」が横ばい、「横ばい」が縮小
- ・ 製品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「上昇」が縮小

来期の見通し

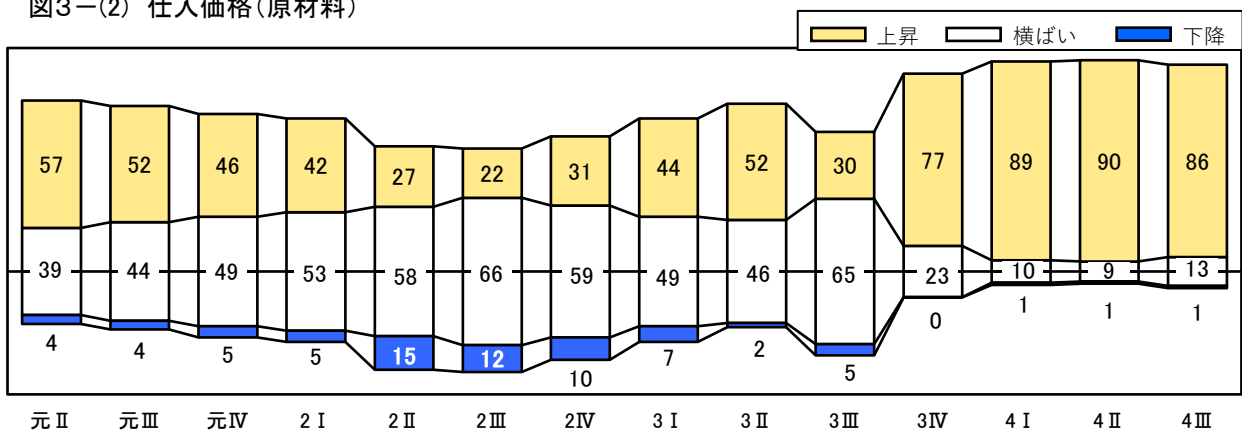
- ・ 製品在庫水準は、「不足」が拡大、「適正」が横ばい、「過大」が縮小
- ・ 仕入価格は、「横ばい」が拡大、「下降」が横ばい、「上昇」が縮小
- ・ 製品価格は、「横ばい」、「下降」が拡大、「上昇」が縮小

図3－(1) 製品在庫水準



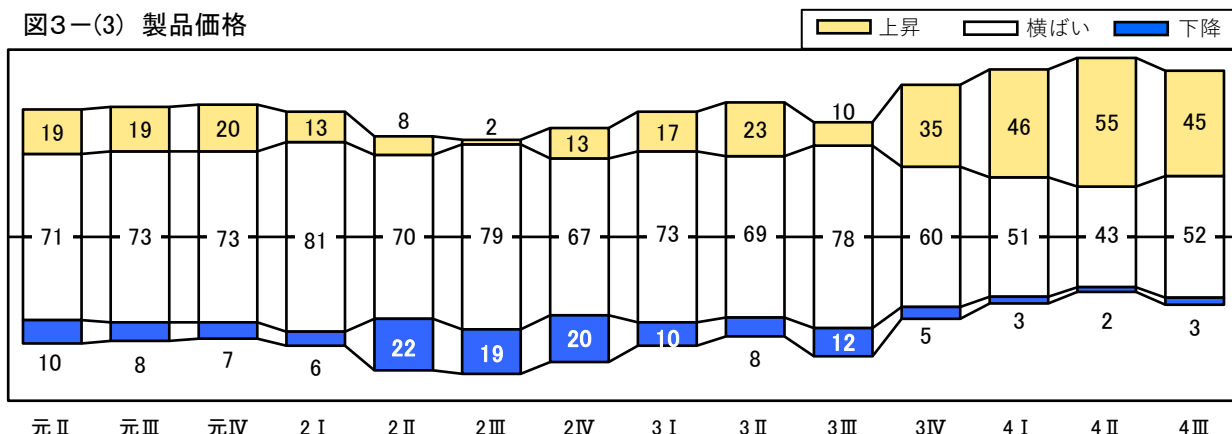
(見通し)

図3－(2) 仕入価格(原材料)



(見通し)

図3－(3) 製品価格



(見通し)

(2) 卸売・小売業

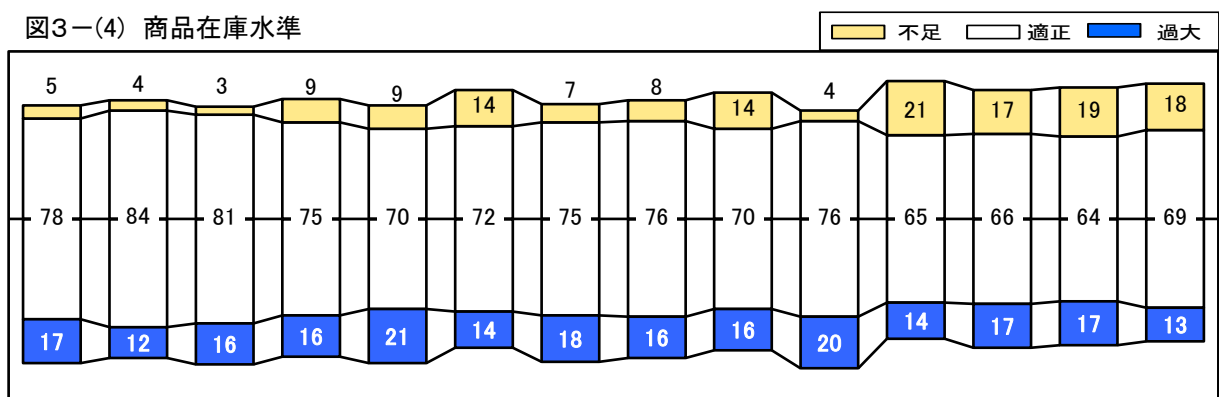
今期の実績

- ・商品在庫水準は、前期と比べ、「不足」が拡大、「過大」が横ばい、「適正」が縮小
- ・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」、「下降」が縮小
- ・商品価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」、「下降」が縮小

来期の見通し

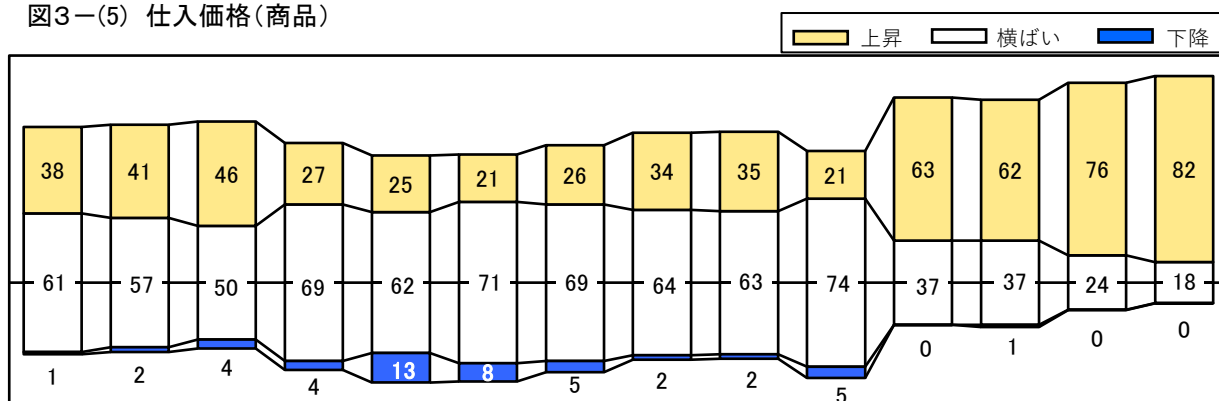
- ・商品在庫水準は、「適正」が拡大、「過大」、「不足」が縮小
- ・仕入価格は、「上昇」が拡大、「下降」が横ばい、「横ばい」が縮小
- ・商品価格は、「上昇」が拡大、「横ばい」、「下降」が縮小

図3-(4) 商品在庫水準



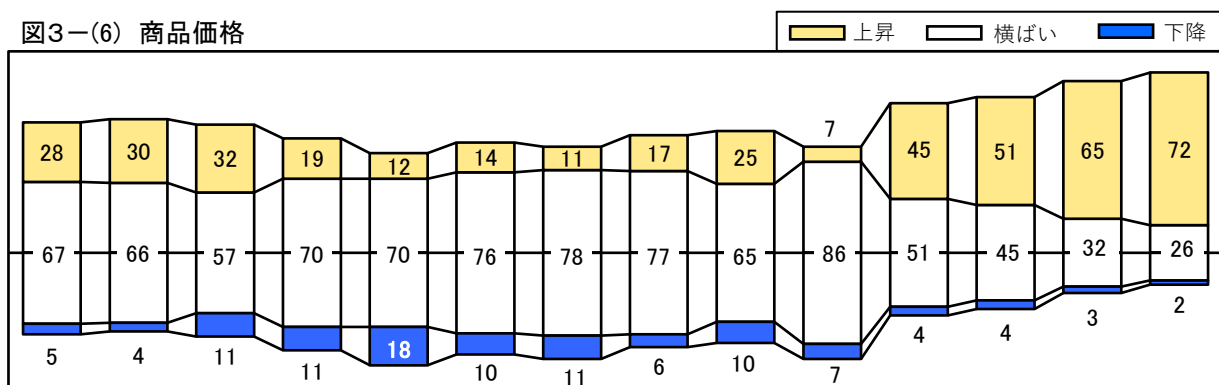
(見通し)

図3-(5) 仕入価格(商品)



(見通し)

図3-(6) 商品価格



(見通し)

4 設備投資の状況

今期の実績

- ・「設備投資をした」と回答した企業は30%で、前期から横ばい
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が72%、「合理化・省力化」が28%、「生産・販売能力拡大」が26%（複数回答）

来期の見通し

- ・「設備投資をする」と回答した企業は28%で、今期から下降
- ・設備投資の目的については、「設備更新」が77%、「合理化・省力化」が28%、「生産・販売能力拡大」が25%（複数回答）

図4－(1) 設備投資の状況

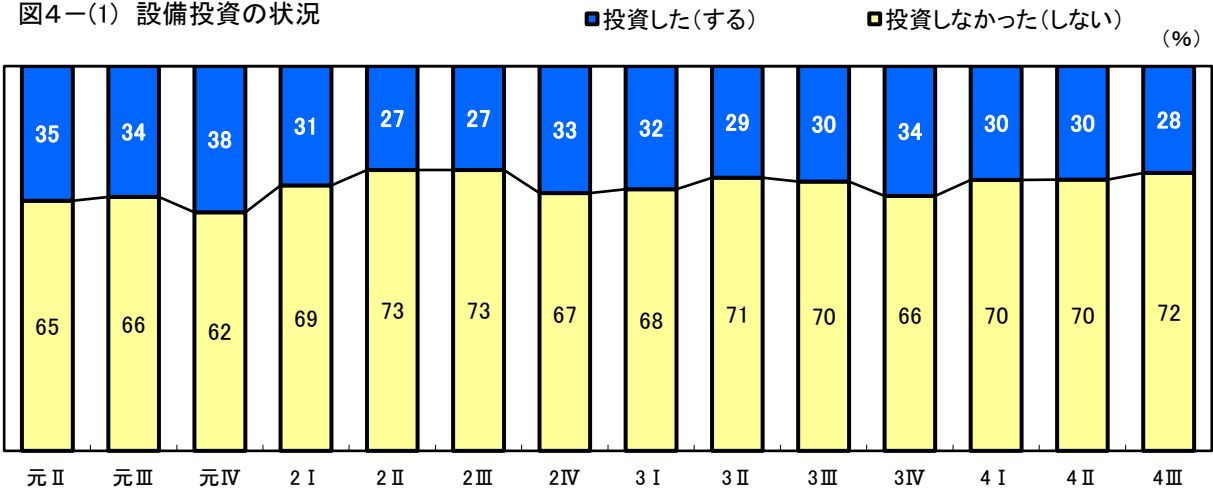


図4－(2) 設備投資の目的(複数回答)

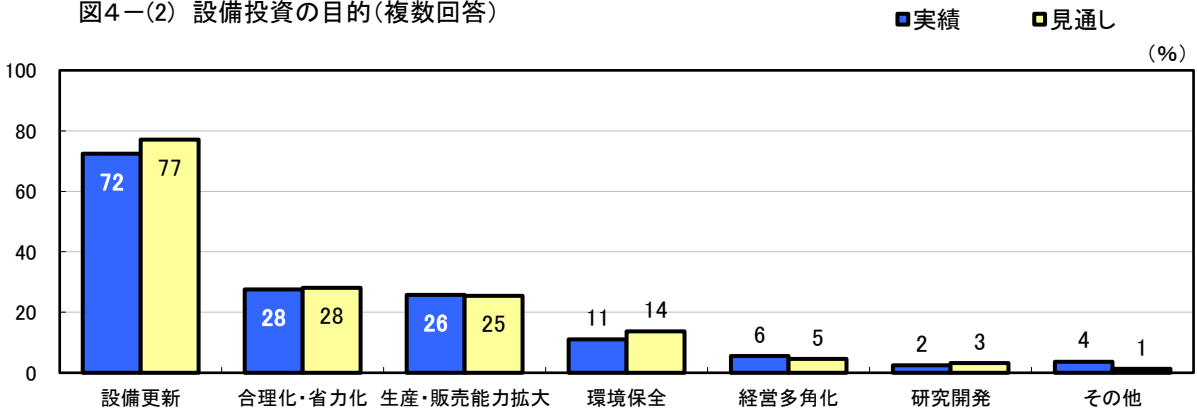


表4-1) 設備投資の状況(R4年4-6月実績)(業種・資本金・地域別)

(%)

区 分	R4年1-3月 設備投資した	R4年4-6月 設備投資した	設備投資の目的(複数回答)						
			設備 更新	合理化 省力化	生産・ 販売能力 拡大	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	30	30	72	28	26	11	6	2	4
札幌市を除く	27	27	73	24	21	11	4	3	3
札幌市	39	36	72	37	37	11	9	2	4
業 種									
建設業	28	30	63	48	26	15	4	0	4
製造業	36	33	79	36	27	15	6	0	3
卸売・小売業	23	24	72	12	24	16	8	8	4
運輸業	34	32	84	8	12	4	0	0	0
サービス業	28	30	68	28	32	8	8	4	6
資 本 金									
5千万円未満	23	26	68	24	29	8	7	2	3
5千万以上～1億円未満	30	28	77	26	23	6	3	3	6
1億円以上	57	47	78	38	19	22	3	3	3
地 域									
道南	26	23	80	13	13	7	0	0	7
道央	32	31	74	34	35	12	5	4	4
札幌市を除く	24	25	79	29	32	14	0	7	4
札幌市	39	36	72	37	37	11	9	2	4
道北	32	28	67	25	17	13	8	0	4
オホーツク	25	26	27	27	36	9	18	0	0
十勝	26	39	83	26	26	9	4	0	4
釧路・根室	29	28	81	19	0	13	0	6	0

表4-2) 設備投資の状況(R4年7-9月見通し)(業種・資本金・地域別)

(%)

区 分	R4年7-9月 設備投資する	設備投資の目的(複数回答)						
		設備 更新	合理化 省力化	生産・ 販売能力 拡大	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	28	77	28	25	14	5	3	1
札幌市を除く	26	77	26	23	15	5	4	1
札幌市	33	76	33	33	10	2	2	2
業 種								
建設業	21	79	47	16	11	5	0	0
製造業	39	72	33	31	26	5	3	3
卸売・小売業	25	77	15	23	12	4	4	4
運輸業	32	96	8	12	8	4	0	0
サービス業	25	70	34	34	9	5	7	0
資 本 金								
5千万円未満	22	71	29	26	9	8	3	0
5千万以上～1億円未満	31	79	18	26	12	0	3	6
1億円以上	50	87	36	23	26	3	5	0
地 域								
道南	25	75	13	19	13	6	6	6
道央	31	76	29	31	16	1	3	1
札幌市を除く	29	76	24	27	24	0	3	0
札幌市	33	76	33	33	10	2	2	2
道北	24	75	15	30	15	5	5	0
オホーツク	30	62	31	23	8	8	0	0
十勝	31	83	44	22	11	17	0	0
釧路・根室	19	100	36	0	9	0	9	0

5 地域別にみる各産業の動向

(1) 道南

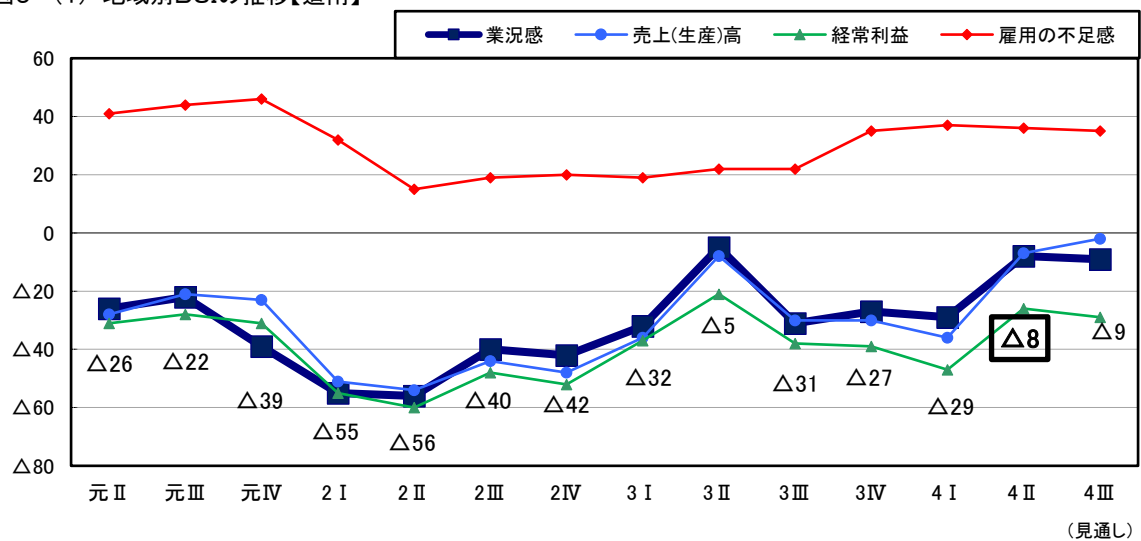
今期の業況感BSIは △ 8 (前期から 21 ポイント上昇)

主な上昇業種・・・汎用機械器具製造業 (△100→0)、
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 (△100→0)、
機械器具卸売業 (△100→0)、鉄道業 (0→100)、倉庫業 (△100→0)、
宿泊業 (△57→50)

主な下降業種・・・木材・木製品製造業 (100→50)、
電子部品・デバイス・電子回路製造業 (100→△100)、
道路旅客運送業 (0→△100)、道路貨物運送業 (0→△25)

来期の業況感BSIは △ 9 (今期から 1 ポイント下降)

図5-(1) 地域別BSIの推移【道南】



区 分		R4年 1-3月 実績BSI	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 29	16	60	24	△ 8	21	12	67	21	△ 9	△ 1
	建設業	△ 18	9	64	27	△ 18	0	9	73	18	△ 9	9
	製造業	△ 13	7	80	13	△ 6	7	7	72	21	△ 14	△ 8
	卸売・小売業	△ 40	23	39	38	△ 15	25	23	46	31	△ 8	7
	運輸業	△ 38	25	37	38	△ 13	25	13	49	38	△ 25	△ 12
	サービス業	△ 38	19	67	14	5	43	10	80	10	0	△ 5
売上 (生産)高	全産業	△ 36	21	51	28	△ 7	29	19	60	21	△ 2	5
	建設業	△ 55	9	55	36	△ 27	28	18	55	27	△ 9	18
	製造業	△ 20	13	74	13	0	20	13	74	13	0	0
	卸売・小売業	△ 30	31	23	46	△ 15	15	38	39	23	15	30
	運輸業	△ 25	25	37	38	△ 13	12	13	49	38	△ 25	△ 12
	サービス業	△ 44	24	57	19	5	49	14	72	14	0	△ 5
経常利益	全産業	△ 47	15	44	41	△ 26	21	9	53	38	△ 29	△ 3
	建設業	△ 64	0	55	45	△ 45	19	9	55	36	△ 27	18
	製造業	△ 46	7	40	53	△ 46	0	0	53	47	△ 47	△ 1
	卸売・小売業	△ 40	23	39	38	△ 15	25	15	54	31	△ 16	△ 1
	運輸業	△ 43	25	37	38	△ 13	30	13	37	50	△ 37	△ 24
	サービス業	△ 44	19	48	33	△ 14	30	10	57	33	△ 23	△ 9
雇用者の 不足感	全産業	37	39	58	3	36	△ 1	35	65	0	35	△ 1
	建設業	73	60	40	0	60	△ 13	50	50	0	50	△ 10
	製造業	40	40	53	7	33	△ 7	33	67	0	33	0
	卸売・小売業	10	25	75	0	25	15	25	75	0	25	0
	運輸業	25	50	37	13	37	12	38	62	0	38	1
	サービス業	33	33	67	0	33	0	33	67	0	33	0

※「売上(生産)高」及び「経常利益」については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と、
「雇用者の不足感」については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替え。(以下、同じ。)

(2) 道央

今期の業況感BSIは△4(前期から26ポイント上昇)

主な上昇業種…繊維・衣服等卸売業(△100→50)、飲食料品卸売業(△60→50)、
繊維・衣服・身の回り品小売業(△100→50)、道路旅客運送業(△50→62)、
飲食店(△86→17)

主な下降業種…パルプ・紙・紙加工品製造業(0→△100)、通信業(0→△50)、
廃棄物処理業(0→△33)、機械等修理業(0→△50)、
職業紹介・労働者派遣業(0→△50)

来期の業況感BSIは1(今期から5ポイント上昇)

図5-(2) 地域別BSIの推移【道央】

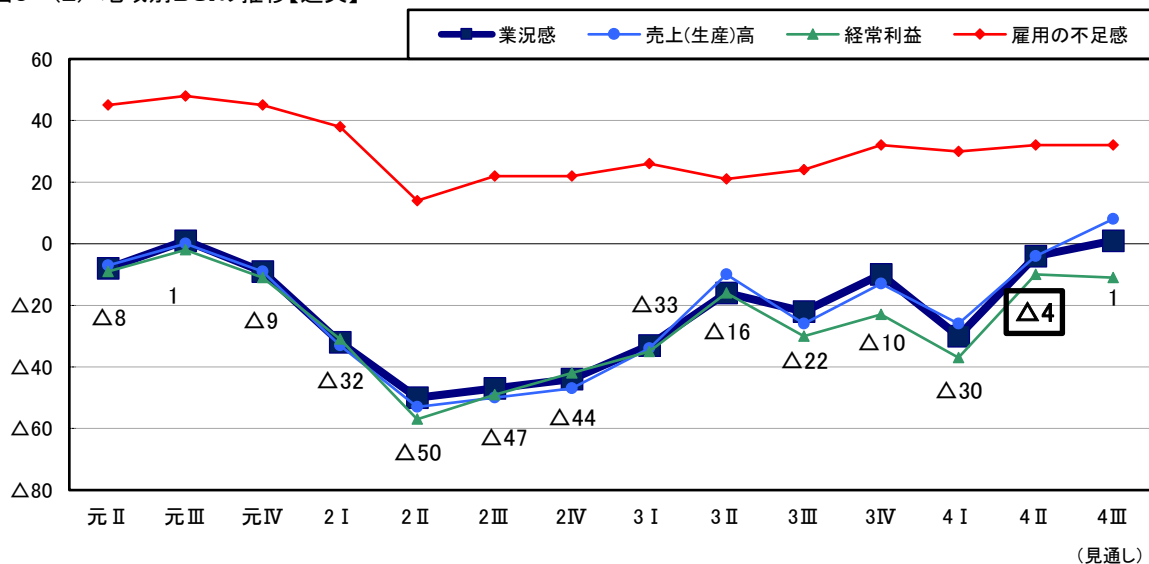


表5-(2) 地域別BSI【道央】

区 分		R4年 1-3月 実績BSI	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	Δ 30	20	56	24	Δ 4	26	20	61	19	1	5
	建設業	Δ 20	6	76	18	Δ 12	8	6	76	18	Δ 12	0
	製造業	Δ 36	13	49	38	Δ 25	11	13	57	30	Δ 17	8
	卸売・小売業	Δ 47	22	58	20	2	49	18	58	24	Δ 6	Δ 8
	運輸業	Δ 30	26	55	19	7	37	19	68	13	6	Δ 1
	サービス業	Δ 21	25	50	25	0	21	30	56	14	16	16
売上 (生産)高	全産業	Δ 26	24	48	28	Δ 4	22	27	54	19	8	12
	建設業	Δ 25	9	70	21	Δ 12	13	9	73	18	Δ 9	3
	製造業	Δ 23	20	45	35	Δ 15	8	18	57	25	Δ 7	8
	卸売・小売業	Δ 38	28	46	26	2	40	24	52	24	0	Δ 2
	運輸業	Δ 21	26	48	26	0	21	19	65	16	3	3
	サービス業	Δ 24	27	45	28	Δ 1	23	40	44	16	24	25
経常利益	全産業	Δ 37	21	48	31	Δ 10	27	18	53	29	Δ 11	Δ 1
	建設業	Δ 29	6	73	21	Δ 15	14	9	73	18	Δ 9	6
	製造業	Δ 46	18	37	45	Δ 27	19	8	47	45	Δ 37	Δ 10
	卸売・小売業	Δ 47	26	46	28	Δ 2	45	13	52	35	Δ 22	Δ 20
	運輸業	Δ 49	16	52	32	Δ 16	33	19	46	35	Δ 16	0
	サービス業	Δ 26	26	45	29	Δ 3	23	28	51	21	7	10
雇用者の 不足感	全産業	30	39	54	7	32	2	37	58	5	32	0
	建設業	52	55	45	0	55	3	58	42	0	58	3
	製造業	18	35	57	8	27	9	30	60	10	20	Δ 7
	卸売・小売業	38	37	54	9	28	Δ 10	30	63	7	23	Δ 5
	運輸業	30	39	51	10	29	Δ 1	39	58	3	36	7
	サービス業	24	36	57	7	29	5	36	60	4	32	3

(2) - ① 道央（札幌市を除く）

今期の業況感BSIは $\Delta 12$ （前期から24ポイント上昇）

主な上昇業種…職別工事業（ $\Delta 100 \rightarrow 0$ ）、プラスチック製品製造業（ $\Delta 100 \rightarrow 0$ ）、
汎用機械器具製造業（ $0 \rightarrow 100$ ）、飲食料品卸売業（ $\Delta 67 \rightarrow 50$ ）、
織物・衣服・身の回り品小売業（ $\Delta 100 \rightarrow 100$ ）、飲食料品小売業（ $0 \rightarrow 100$ ）、
道路旅客運送業（ $\Delta 60 \rightarrow 40$ ）

主な下降業種…総合工事業（ $\Delta 27 \rightarrow \Delta 36$ ）、設備工事業（ $50 \rightarrow 0$ ）、
化学工業（ $\Delta 34 \rightarrow \Delta 50$ ）、生産用機械器具製造業（ $0 \rightarrow \Delta 50$ ）

来期の業況感BSIは $\Delta 1$ （今期から11ポイント上昇）

図5-(2)-① 地域別BSIの推移【道央（札幌市を除く）】

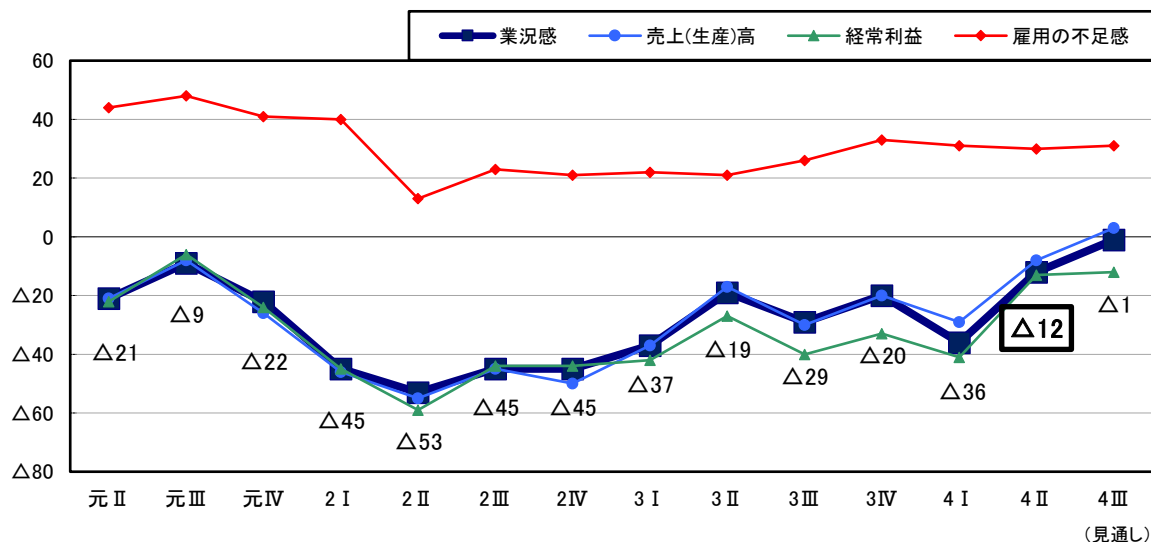


表5-(2)-① 地域別BSI【道央（札幌市を除く）】

区 分		R4年 1-3月 実績BSI	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	$\Delta 36$	18	52	30	$\Delta 12$	24	22	55	23	$\Delta 1$	11
	建設業	$\Delta 26$	0	71	29	$\Delta 29$	$\Delta 3$	7	64	29	$\Delta 22$	7
	製造業	$\Delta 44$	9	56	35	$\Delta 26$	18	9	65	26	$\Delta 17$	9
	卸売・小売業	$\Delta 53$	26	32	42	$\Delta 16$	37	33	34	33	0	16
	運輸業	$\Delta 30$	16	68	16	0	30	16	73	11	5	5
	サービス業	$\Delta 33$	26	45	29	$\Delta 3$	30	32	48	20	12	15
売上 (生産)高	全産業	$\Delta 29$	21	50	29	$\Delta 8$	21	26	51	23	3	11
	建設業	$\Delta 19$	7	57	36	$\Delta 29$	$\Delta 10$	7	64	29	$\Delta 22$	7
	製造業	$\Delta 26$	22	56	22	0	26	17	61	22	$\Delta 5$	$\Delta 5$
	卸売・小売業	$\Delta 37$	32	31	37	$\Delta 5$	32	42	32	26	16	21
	運輸業	$\Delta 25$	11	63	26	$\Delta 15$	10	16	63	21	$\Delta 5$	10
	サービス業	$\Delta 33$	26	45	29	$\Delta 3$	30	33	46	21	12	15
経常利益	全産業	$\Delta 41$	19	49	32	$\Delta 13$	28	17	54	29	$\Delta 12$	1
	建設業	$\Delta 12$	7	57	36	$\Delta 29$	$\Delta 17$	7	72	21	$\Delta 14$	15
	製造業	$\Delta 52$	17	48	35	$\Delta 18$	34	9	52	39	$\Delta 30$	$\Delta 12$
	卸売・小売業	$\Delta 26$	21	42	37	$\Delta 16$	10	26	48	26	0	16
	運輸業	$\Delta 45$	5	58	37	$\Delta 32$	13	16	42	42	$\Delta 26$	6
	サービス業	$\Delta 48$	29	45	26	3	51	21	58	21	0	$\Delta 3$
雇用者の 不足感	全産業	31	38	54	8	30	$\Delta 1$	36	59	5	31	1
	建設業	50	50	50	0	50	0	57	43	0	57	7
	製造業	17	26	65	9	17	0	17	70	13	4	$\Delta 13$
	卸売・小売業	33	32	57	11	21	$\Delta 12$	21	74	5	16	$\Delta 5$
	運輸業	30	37	52	11	26	$\Delta 4$	37	63	0	37	11
	サービス業	33	44	49	7	37	4	46	49	5	41	4

(2) - ② 道央（札幌市）

今期の業況感BSIは2（前期から25ポイント上昇）

主な上昇業種・・・繊維・衣服等卸売業（△100→50）、
道路旅客運送業（△33→100）、飲食店（△67→100）、
持ち帰り・配達飲食サービス業（△100→100）

主な下降業種・・・パルプ・紙・紙加工品製造業（0→△100）、通信業（0→△50）、
廃棄物処理業（0→△50）、機械等修理業（50→△50）、
職業紹介・労働者派遣業（0→△100）、その他の事業サービス業（0→△50）

来期の業況感BSIは3（今期から1ポイント上昇）

図5-(2)-② 地域別BSIの推移【道央（札幌市）】

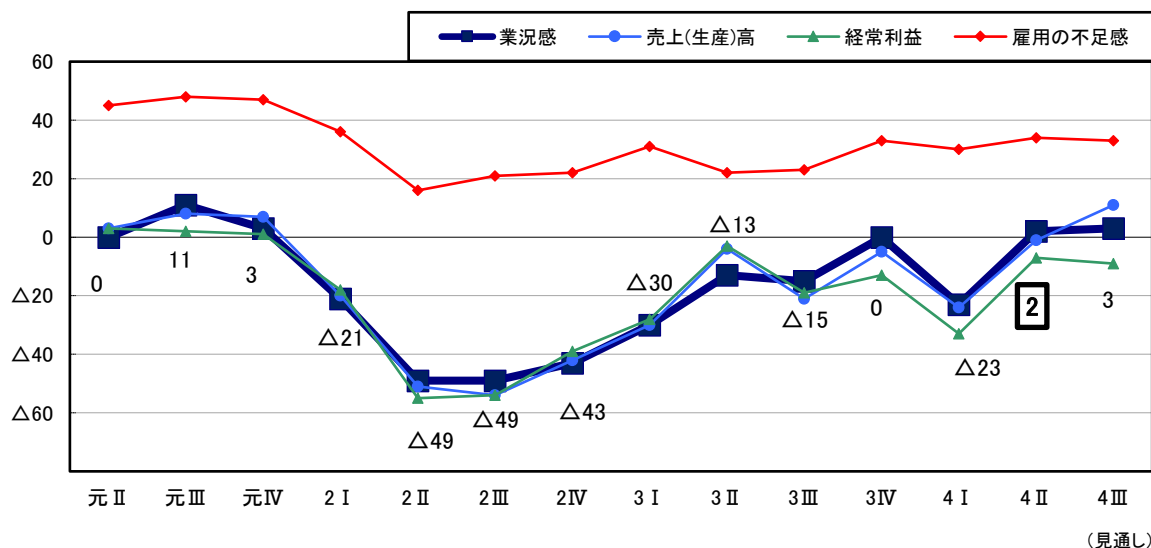


表5-(2)-② 地域別BSI【道央（札幌市）】

区 分		R4年 1-3月 実績BSI	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 23	22	58	20	2	25	19	65	16	3	1
	建設業	△ 13	11	78	11	0	13	5	84	11	△ 6	△ 6
	製造業	△ 25	18	41	41	△ 23	2	18	47	35	△ 17	6
	卸売・小売業	△ 42	19	77	4	15	57	7	74	19	△ 12	△ 27
	運輸業	△ 31	42	33	25	17	48	25	58	17	8	△ 9
	サービス業	△ 12	25	52	23	2	14	28	63	9	19	17
売上 (生産)高	全産業	△ 24	26	47	27	△ 1	23	27	57	16	11	12
	建設業	△ 33	11	78	11	0	33	11	78	11	0	0
	製造業	△ 19	18	29	53	△ 35	△ 16	18	53	29	△ 11	24
	卸売・小売業	△ 38	26	55	19	7	45	11	67	22	△ 11	△ 18
	運輸業	△ 15	50	25	25	25	40	25	67	8	17	△ 8
	サービス業	△ 16	28	44	28	0	16	45	44	11	34	34
経常利益	全産業	△ 33	23	47	30	△ 7	26	20	51	29	△ 9	△ 2
	建設業	△ 47	5	84	11	△ 6	41	11	73	16	△ 5	1
	製造業	△ 38	18	23	59	△ 41	△ 3	6	41	53	△ 47	△ 6
	卸売・小売業	△ 62	30	48	22	8	70	4	55	41	△ 37	△ 45
	運輸業	△ 54	33	42	25	8	62	25	50	25	0	△ 8
	サービス業	△ 8	25	43	32	△ 7	1	34	45	21	13	20
雇用者の 不足感	全産業	30	40	54	6	34	4	38	57	5	33	△ 1
	建設業	53	58	42	0	58	5	58	42	0	58	0
	製造業	19	47	47	6	41	22	47	47	6	41	0
	卸売・小売業	42	41	52	7	34	△ 8	37	56	7	30	△ 4
	運輸業	31	42	50	8	34	3	42	50	8	34	0
	サービス業	18	30	62	8	22	4	28	68	4	24	2

(3) 道北

今期の業況感BSIは △ 6 (前期から 10 ポイント上昇)

主な上昇業種・・・その他の製造業 (△100→0)、繊維・衣服等卸売業 (△100→△50)、
道路旅客運送業 (△50→75)、飲食店 (0→100)、
洗濯・理容・美容・浴場業 (0→67)

主な下降業種・・・生産用機械器具製造業 (100→△100)、
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 (33→0)、通信業 (100→0)、
情報サービス業 (0→△33)

来期の業況感BSIは △ 6 (今期から横ばい)

図5-(3) 地域別BSIの推移【道北】

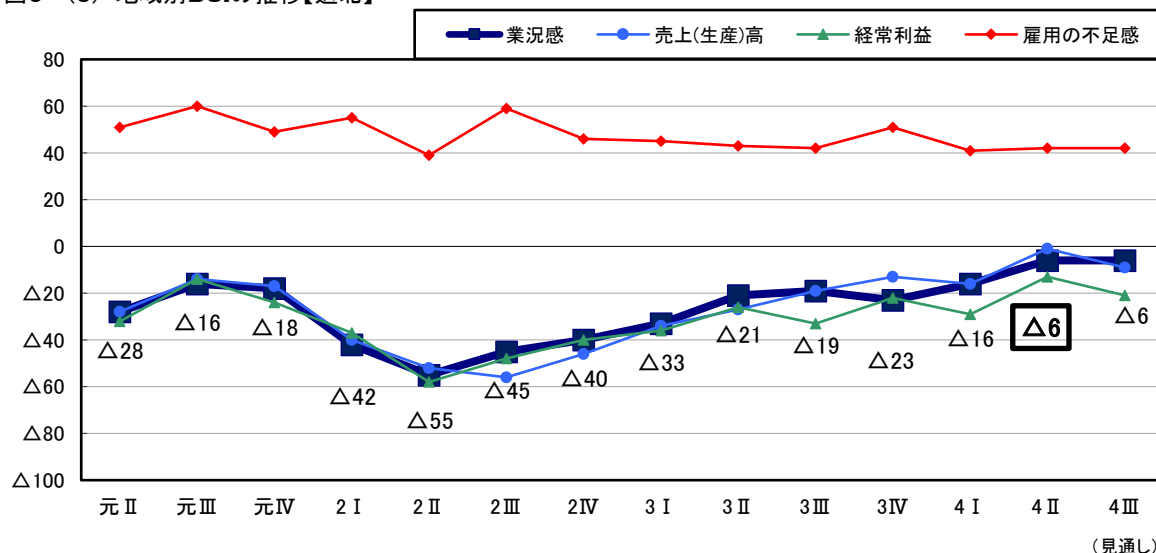


表5-(3) 地域別BSI(道北)

区 分		R4年 1-3月 実績BSI	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 16	21	52	27	△ 6	10	15	64	21	△ 6	0
	建設業	0	18	64	18	0	0	12	64	24	△ 12	△ 12
	製造業	△ 17	6	61	33	△ 27	△ 10	0	72	28	△ 28	△ 1
	卸売・小売業	△ 7	20	60	20	0	7	13	80	7	6	6
	運輸業	△ 46	27	37	36	△ 9	37	27	46	27	0	9
	サービス業	△ 21	33	38	29	4	25	24	56	20	4	0
売上 (生産)高	全産業	△ 16	28	43	29	△ 1	15	15	61	24	△ 9	△ 8
	建設業	6	18	58	24	△ 6	△ 12	12	53	35	△ 23	△ 17
	製造業	△ 23	17	44	39	△ 22	1	0	72	28	△ 28	△ 6
	卸売・小売業	△ 19	47	33	20	27	46	20	73	7	13	△ 14
	運輸業	△ 27	27	46	27	0	27	27	55	18	9	9
	サービス業	△ 20	32	36	32	0	20	20	52	28	△ 8	△ 8
経常利益	全産業	△ 29	22	43	35	△ 13	16	10	59	31	△ 21	△ 8
	建設業	25	18	53	29	△ 11	△ 36	6	59	35	△ 29	△ 18
	製造業	△ 35	11	45	44	△ 33	2	0	61	39	△ 39	△ 6
	卸売・小売業	△ 19	27	46	27	0	19	13	60	27	△ 14	△ 14
	運輸業	△ 55	9	55	36	△ 27	28	9	64	27	△ 18	9
	サービス業	△ 52	36	28	36	0	52	20	52	28	△ 8	△ 8
雇用の 不足感	全産業	41	47	48	5	42	1	47	48	5	42	0
	建設業	57	71	29	0	71	14	76	24	0	76	5
	製造業	57	39	50	11	28	△ 29	39	50	11	28	0
	卸売・小売業	19	40	60	0	40	21	40	60	0	40	0
	運輸業	73	55	36	9	46	△ 27	55	36	9	46	0
	サービス業	21	38	58	4	34	13	33	63	4	29	△ 5

(4) オホーツク

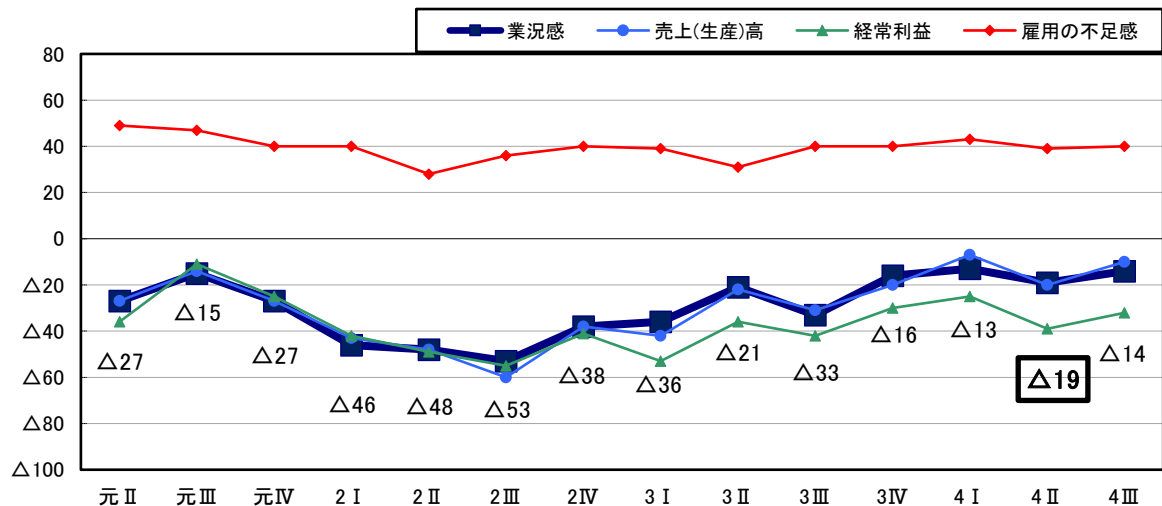
今期の業況感BSIは △19 (前期から6ポイント下降)

主な上昇業種・・・汎用機械器具製造業 (△100→0)、飲食料品卸売業 (0→33)、
 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 (△100→0)、道路旅客運送業 (△50→0)、
 技術サービス業 (△50→0)

主な下降業種・・・輸送用機械器具製造業 (100→0)、その他の小売業 (0→△100)、
 道路貨物運送業 (16→△75)、宿泊業 (100→0)、
 飲食店 (50→0)

来期の業況感BSIは △14 (今期から5ポイント上昇)

図5-(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】



(見通し)

表5-(4) 地域別BSI(オホーツク)

区 分		R4年 1-3月 実績BSI	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 13	11	59	30	△ 19	△ 6	16	54	30	△ 14	5
	建設業	△ 22	0	62	38	△ 38	△ 16	13	37	50	△ 37	1
	製造業	△ 18	13	74	13	0	18	14	57	29	△ 15	△ 15
	卸売・小売業	△ 36	10	60	30	△ 20	16	20	40	40	△ 20	0
	運輸業	△ 16	22	22	56	△ 34	△ 18	22	56	22	0	34
	サービス業	30	11	78	11	0	△ 30	11	78	11	0	0
売上 (生産)高	全産業	△ 7	16	48	36	△ 20	△ 13	20	50	30	△ 10	10
	建設業	△ 44	0	37	63	△ 63	△ 19	0	50	50	△ 50	13
	製造業	△ 18	13	62	25	△ 12	6	13	49	38	△ 25	△ 13
	卸売・小売業	9	40	40	20	20	11	50	20	30	20	0
	運輸業	△ 8	11	33	56	△ 45	△ 37	22	56	22	0	45
	サービス業	20	11	67	22	△ 11	△ 31	11	78	11	0	11
経常利益	全産業	△ 25	9	43	48	△ 39	△ 14	11	46	43	△ 32	7
	建設業	△ 45	0	25	75	△ 75	△ 30	0	37	63	△ 63	12
	製造業	△ 18	13	49	38	△ 25	△ 7	13	37	50	△ 37	△ 12
	卸売・小売業	△ 36	10	40	50	△ 40	△ 4	20	30	50	△ 30	10
	運輸業	△ 25	11	33	56	△ 45	△ 20	11	45	44	△ 33	12
	サービス業	0	11	67	22	△ 11	△ 11	11	78	11	0	11
雇用者の 不足感	全産業	43	39	61	0	39	△ 4	40	60	0	40	1
	建設業	67	63	37	0	63	△ 4	63	37	0	63	0
	製造業	55	38	62	0	38	△ 17	38	62	0	38	0
	卸売・小売業	27	20	80	0	20	△ 7	40	60	0	40	20
	運輸業	67	44	56	0	44	△ 23	50	50	0	50	6
	サービス業	0	33	67	0	33	33	13	87	0	13	△ 20

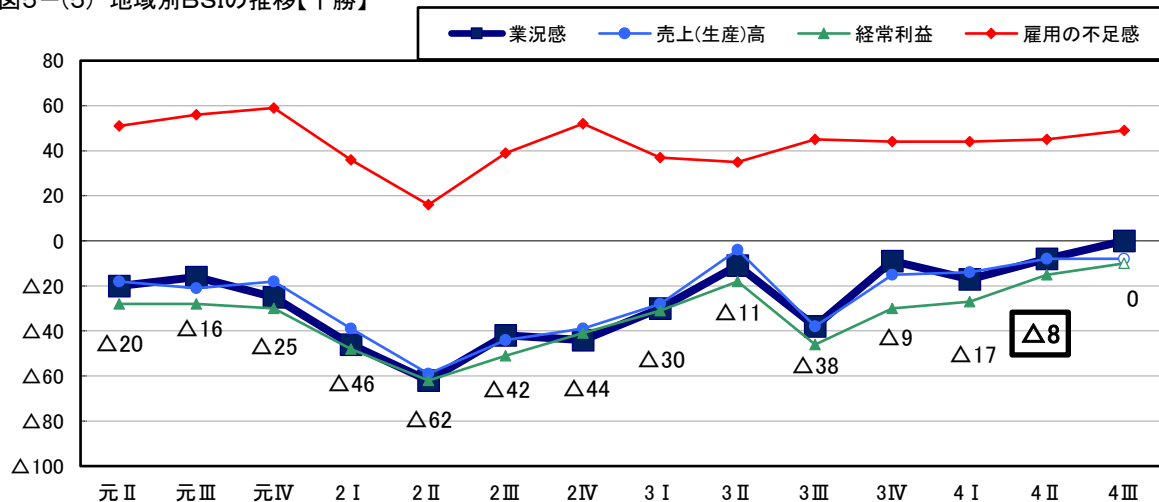
(5) 十勝

今期の業況感BSIは △ 8 (前期から 9 ポイント上昇)

主な上昇業種・・・生産用機械器具製造業 (△33→0)、飲食料品卸売業 (△33→0)、
 機械器具卸売業 (0→50)、各種商品小売業 (△100→100)、
 道路旅客運送業 (△100→50)、飲食店 (△100→0)
 主な下降業種・・・総合工事業 (0→△22)、パルプ・紙・紙加工品製造業 (100→0)、
 機械器具小売業 (△50→△60)、物品賃貸業 (0→△50)
 職業紹介・労働者派遣業 (0→△50)

来期の業況感BSIは 0 (今期から 8 ポイント上昇)

図5-(5) 地域別BSIの推移【十勝】



(見通し)

表5-(5) 地域別BSI(十勝)

区 分		R4年 1-3月 実績BSI	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 17	9	74	17	△ 8	9	16	68	16	0	8
	建設業	0	0	80	20	△ 20	△ 20	0	70	30	△ 30	△ 10
	製造業	△ 8	11	78	11	0	8	22	56	22	0	0
	卸売・小売業	△ 40	15	62	23	△ 8	32	23	62	15	8	16
	運輸業	△ 25	9	91	0	9	34	27	73	0	27	18
	サービス業	△ 20	7	66	27	△ 20	0	7	80	13	△ 6	14
売上 (生産)高	全産業	△ 14	12	68	20	△ 8	6	14	64	22	△ 8	0
	建設業	18	0	70	30	△ 30	△ 48	0	60	40	△ 40	△ 10
	製造業	△ 7	11	67	22	△ 11	△ 4	22	56	22	0	11
	卸売・小売業	△ 20	15	62	23	△ 8	12	23	46	31	△ 8	0
	運輸業	△ 37	25	67	8	17	54	25	67	8	17	0
	サービス業	△ 27	7	73	20	△ 13	14	0	87	13	△ 13	0
経常利益	全産業	△ 27	14	57	29	△ 15	12	12	66	22	△ 10	5
	建設業	△ 18	10	50	40	△ 30	△ 12	0	70	30	△ 30	0
	製造業	△ 8	11	56	33	△ 22	△ 14	22	67	11	11	33
	卸売・小売業	△ 10	23	46	31	△ 8	2	15	54	31	△ 16	△ 8
	運輸業	△ 50	17	66	17	0	50	25	58	17	8	8
	サービス業	△ 47	7	66	27	△ 20	27	0	80	20	△ 20	0
雇用者の 不足感	全産業	44	47	51	2	45	1	51	47	2	49	4
	建設業	55	50	50	0	50	△ 5	50	50	0	50	0
	製造業	23	56	44	0	56	33	56	44	0	56	0
	卸売・小売業	50	31	61	8	23	△ 27	38	54	8	30	7
	運輸業	75	58	42	0	58	△ 17	67	33	0	67	9
	サービス業	33	47	53	0	47	14	47	53	0	47	0

(6) 釧路・根室

今期の業況感BSIは △ 22 (前期から9ポイント上昇)

主な上昇業種・・・道路旅客運送業 (△33→0)、道路貨物運送業 (△80→△40)、
 物品賃貸業 (△100→△50)、飲食店 (△100→△50)、
 自動車整備業 (△100→0)、職業紹介・労働者派遣業 (△100→0)

主な下降業種・・・食料品製造業 (△67→△100)、飲料・たばこ・飼料製造業 (0→△100)、
 窯業・土石製品製造業 (0→△100)、技術サービス業 (25→△25)、
 宿泊業 (100→0)

来期の業況感BSIは △ 22 (今期から横ばい)

図5-(6) 地域別BSIの推移【釧路・根室】

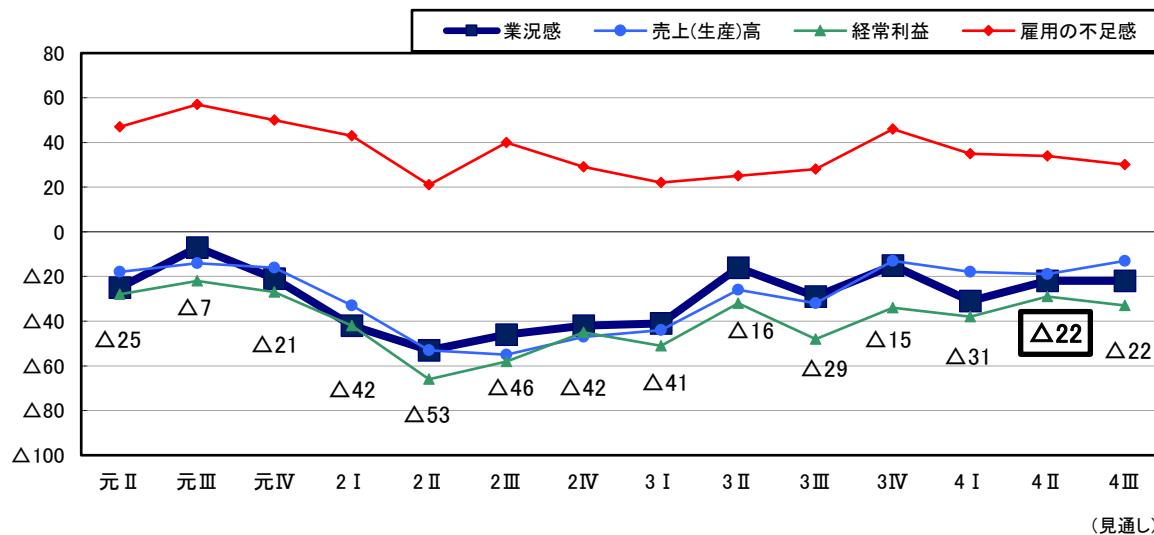


表5-(6) 地域別BSI(釧路・根室)

区 分		R4年 1-3月 実績BSI	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 31	7	64	29	△ 22	9	4	70	26	△ 22	0
	建設業	△ 10	0	100	0	0	10	0	73	27	△ 27	△ 27
	製造業	△ 25	20	20	60	△ 40	△ 15	10	70	20	△ 10	30
	卸売・小売業	△ 38	0	62	38	△ 38	0	0	62	38	△ 38	0
	運輸業	△ 34	17	58	25	△ 8	26	8	67	25	△ 17	△ 9
	サービス業	△ 43	0	71	29	△ 29	14	0	75	25	△ 25	4
売上 (生産)高	全産業	△ 18	10	61	29	△ 19	△ 1	7	73	20	△ 13	6
	建設業	△ 10	0	91	9	△ 9	1	0	82	18	△ 18	△ 9
	製造業	8	27	37	36	△ 9	△ 17	18	73	9	9	18
	卸売・小売業	△ 38	13	37	50	△ 37	1	13	49	38	△ 25	12
	運輸業	△ 25	17	58	25	△ 8	17	8	75	17	△ 9	△ 1
	サービス業	△ 31	0	71	29	△ 29	2	0	76	24	△ 24	5
経常利益	全産業	△ 38	7	57	36	△ 29	9	3	61	36	△ 33	△ 4
	建設業	△ 20	0	91	9	△ 9	11	0	64	36	△ 36	△ 27
	製造業	△ 33	9	9	82	△ 73	△ 40	9	36	55	△ 46	27
	卸売・小売業	△ 50	13	49	38	△ 25	25	0	62	38	△ 38	△ 13
	運輸業	△ 59	17	58	25	△ 8	51	8	59	33	△ 25	△ 17
	サービス業	△ 31	0	71	29	△ 29	2	0	76	24	△ 24	5
雇用者の 不足感	全産業	35	36	62	2	34	△ 1	32	66	2	30	△ 4
	建設業	60	45	55	0	45	△ 15	45	55	0	45	0
	製造業	42	45	55	0	45	3	36	64	0	36	△ 9
	卸売・小売業	13	25	75	0	25	12	25	75	0	25	0
	運輸業	25	50	50	0	50	25	50	50	0	50	0
	サービス業	33	18	76	6	12	△ 21	12	82	6	6	△ 6

6 道内の景況感

今期の道内の景況感BSIは $\Delta 8$ （前期から 36 ポイント上昇）

・業種別、地域別ともに、全ての業種、地域でマイナス幅が縮小

来期の道内の景況感BSIは $\Delta 4$ （今期から 4 ポイント上昇）

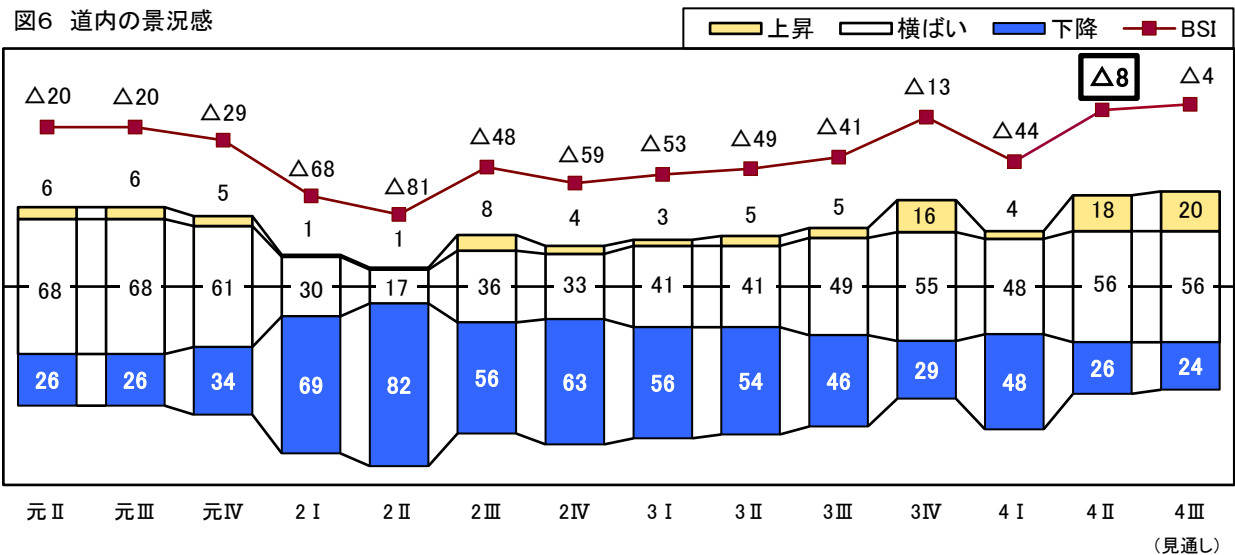


表6 道内の景況感(業種・資本金・地域別)

区 分	R4年 1-3月 実績	R4年4-6月実績					R4年7-9月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総 計	$\Delta 44$	18	56	26	$\Delta 8$	36	20	56	24	$\Delta 4$	4
札幌市を除く	$\Delta 48$	17	54	29	$\Delta 12$	36	19	55	26	$\Delta 7$	5
札幌市	$\Delta 34$	22	62	16	6	40	22	60	18	4	$\Delta 2$
業 種											
建設業	$\Delta 42$	9	62	29	$\Delta 20$	22	11	65	24	$\Delta 13$	7
製造業	$\Delta 45$	19	51	30	$\Delta 11$	34	17	56	27	$\Delta 10$	1
卸売・小売業	$\Delta 50$	18	57	25	$\Delta 7$	43	24	50	26	$\Delta 2$	5
運輸業	$\Delta 45$	19	53	28	$\Delta 9$	36	26	50	24	2	11
サービス業	$\Delta 42$	21	57	22	$\Delta 1$	41	21	56	23	$\Delta 2$	$\Delta 1$
資 本 金											
5千万円未満	$\Delta 48$	15	56	29	$\Delta 14$	34	17	54	29	$\Delta 12$	2
5千万以上～1億円未満	$\Delta 47$	23	53	24	$\Delta 1$	46	25	54	21	4	5
1億円以上	$\Delta 28$	23	66	11	12	40	25	66	9	16	4
地 域											
道南	$\Delta 50$	21	51	28	$\Delta 7$	43	18	60	22	$\Delta 4$	3
道央	$\Delta 40$	21	55	24	$\Delta 3$	37	23	55	22	1	4
札幌市を除く	$\Delta 47$	20	48	32	$\Delta 12$	35	25	49	26	$\Delta 1$	11
札幌市	$\Delta 34$	22	62	16	6	40	22	60	18	4	$\Delta 2$
道北	$\Delta 47$	17	59	24	$\Delta 7$	40	15	58	27	$\Delta 12$	$\Delta 5$
オホーツク	$\Delta 48$	16	57	27	$\Delta 11$	37	20	48	32	$\Delta 12$	$\Delta 1$
十勝	$\Delta 47$	14	59	27	$\Delta 13$	34	22	56	22	0	13
釧路・根室	$\Delta 49$	10	58	32	$\Delta 22$	27	12	57	31	$\Delta 19$	3

7 業種・圏域別企業経営者の声(令和4年4－6月)

【建設業】

道南	・コロナと原油高のダブルパンチです。(土木工事業) ・鉄製品・木材加工品などの価格高騰と納入時期に遅れが生じる懸念があります。納入日が決まらず、施工期間が延び延びになることは、建設業にとって最悪の事態です。現在も採用していただいているフレックス工期をより柔軟に採り入れていただけるよう希望します。(一般土木建築工事業) ・大型公共事業計画の実現(高規格道路延伸等)を望む。(土木工事業(舗装工事業を除く)) ・ウクライナの戦争が終息しても、しばらくは石油製品、材料費の高騰は避けられない状態です。経費の節約等にも限界があります。(一般土木建築工事業)
道央	・新型コロナウイルスで先が見えません。また、ウクライナの戦慄がいつまで続くのか、恐ろしい限りです。このダメージが経済に響き、我々の生活にも影を落としています。経営にも難問の事案が出てくると思いますが、時代の波に乗り遅れることなく、事業を回して行く所存です。明るい社会の姿を早く見たいです。(建築工事業(木造建築工事業を除く)) ・行政に対しては安定的・持続的な予算確保を期待するとともに、業界としても、働き方改革等への取組、SDGsの柱である脱炭素社会の構築に向けた取組などを推進していかなければならないと考えています。(総合建設業)
道北	・工事の受注は例年以上にありますが、運送費の上昇、資材の価格等高騰や納期の遅れによる影響が発生しています。(一般土木建築工事業)
オホーツク	・競争激化による売上と利益の減少及び技術者不足の懸念が続いています。(一般土木建築工事業)
十勝	・コロナウイルスの感染拡大初期に、国の政策で行った無利子無担保貸付の返済開始時期が開始されますが、当時資金繰りが大変な状況で借入を起こした事業者は、経営状況が改善しない中での返済となるため、非常に大変な状況になるのではと推測されます。(建築工事業(木造建築工事業を除く))
釧路・根室	・新型コロナ感染症やウクライナ戦争など、社会情勢の変化が大きく早いので、経営の先行きに不安を感じる。(建築工事業(木造建築工事業を除く))

【製造業】

道南	・原材料、容器・包装資材、重油、輸送費等々の大幅な値上げに苦慮しております。仕入分をそのまま販売価格に転嫁できず、自社内で経費節減や生産性向上策を実施しておりますが、対策にも限界があり、八方ふさがりの状況です。打開策のヒントになるようなアドバイスをいただければありがたいです。(清涼飲料製造業) ・全ての材料費が予想外の高騰が続いているので、何らかの対策を期待します。(水産食料品製造業)
道央	・コロナ禍及びウクライナ情勢等で不安定な状況であるため、道民の生活や企業の運営に対して、バックアップをお願いします。(一般産業用機械・装置製造業) ・電装品等の調達に係る需給ひっ迫により、調達先からの納期の回答が遅延し、顧客との契約納期に影響が出ている。(金属加工機械製造業) ・慢性的な人材不足に加え、原材料、エネルギー価格の高騰が経営を圧迫している。国には安定的な価格での供給をお願いしたい。また中小零細企業に対しての支援策を中長期的に行ってほしい。(農業用機械製造業(農業用器具を除く)) ・来季の経済の見通しが全くつかない状況です。(印刷業) ・為替の安定化並びに輸入品の安定供給を望みます。(自動車・同附属品製造業) ・電気、ガス料金の高騰によるエネルギーコストが増大し、大きな利益減となっている。(調味料製造業) ・年々人件費及び資材価格の上昇が利益を圧迫してきている。コロナにより、社員もしくは社員家族に感染者が出ると、生産に多少の影響が出ることもあり、この状況は今後も発生することも想定しなければならず、また将来のことを考えると、従業員の若返りを図っていかねばならないと感じているが、縫製業界の給与水準は他業種と比べ相対的に低く、なかなか新規採用できる状況にないのが課題です。(外衣・シャツ製造業(和式を除く)) ・来年度以降の動きはあるものの、目先の物件が減少しています。景気刺激策が迅速に行われることを期待します。(家具・装備品製造業) ・エネルギー高騰や物価上昇による製造コストの増加と自動車減産による工場の稼働率の悪化により、固定費・変動費ともに厳しい状況です。本来であれば、上昇したコスト分を価格に反映したいが、顧客からはその要求も認められず、自社でかぶる形になっているのが現状です。まずは電気、ガスなどのエネルギー価格や物価の上昇を抑えるような施策を行政に期待します。(製鋼を行わない鋼材製造業(表面処理鋼材を除く)) ・事業の統廃合を検討中です。(電子部品製造業) ・経営面での懸念事項としては、原料・資材・エネルギーの高騰による利益縮小があります。部品がすぐに納入されない状況なので、機械設備の故障により製造が止まった際、修理が行えないため、商品が納入できずにお客様にご迷惑をお掛けすることを危惧しています。(パン・菓子製造業)
オホーツク	・飲食業に対する補助だけでなく、幅広い業種への支援をお願いします。(看板・標識機製造業)
十勝	・建築材料の異常な値上がりにより、建築意欲の落ち込みが予想される。これを補填する政策を期待したい。(建設用・建築用金属製品製造業(製缶板金業を含む))
釧路・根室	・国際情勢の変化より、目の前の原材料の確保が最優先である。(水産食料品製造業) ・生産性を高めるよう取り組む所存です。(船舶製造・修理業、船用機関製造業)

【卸売・小売業】

道南	・ロシアとウクライナの情勢については、先行き不透明で、わからないというのが正直なところですので、今後の動向に注視して、推移を見守っている状況です。（塩元売業一般食料品卸売業） ・商品不足対策として、あらゆるメーカーとの取引を拡大し、販路の多様化に対応していかなければならず、仕入量と商品の多品種化のバランスが崩れています。行政に対しては、インターネットの参入の遅れが、今現在の日本企業の弱体化の要因とだと感じているので、メタバースに対しては政府予算を拡大し、日本の未来の子供たちに希望を残して欲しいです。（建築材料卸売業） ・灯油、ガソリンの価格高騰が収まって欲しい。（米穀類卸売業）
道央	・大手企業との労働格差により人材確保が難しく、将来の展望が持てない。（機械器具小売業（自動車、自転車を除く）） ・原材料価格、加工費（人件費）、流通費の上昇分を販売価格に全ては転嫁できない。産学共同で、革新的技術開発を目指してしているが、当社の資金力では、試作機の製作や実証試験チームの編成、データーの集積等の進行が遅れて、複数の同時研究が難しい。行政には、実践的なアドバイスと、共同研究をする大手企業への橋渡しを希望したい。（衣服卸売業） ・これ以上原材料が高騰しないように対策を行っていただきたい。（菓子・パン小売業） ・電気料金の高騰が課題です。（食料・飲料卸売業） ・経済対策を進めて欲しい。（各種食料品小売業）
道北	・主たる事業が土産品店であるため、観光客の回復が望まれる。全国的なGOTOなどの政策を早く実施して欲しい。（小売業（土産品）・ビル管理業務） ・人口減少に歯止めをかけるべく、移住定住促進策を行政に期待する。（その他の飲食料品小売業）
オホーツク	・当社の扱っているほぼすべての商品の仕入価格が値上がりしているため、今後の商品価格の見直しが必要です。また発注しても製品が入荷されない状況が続き、修理に対応できていません。世界の情勢が安定することは当分見込めないもので、懸念しています。（金物小売業） ・5年後、10年後を見据えた人材確保が課題。（産業機械器具卸売業）
十勝	・人材育成が課題だと思います。考える力を養う教育をしてほしい。（自動車小売業）2
釧路・根室	・課題が複合的に絡み合い、消費者の購買意欲を低下させている。今年後半にかけて、かなりの数の企業が倒産、廃業、休業に追い込まれると思う。（衣服卸売業）

【運輸業】

道南	・コロナ禍の影響で売上げが大幅ダウンする中、燃料等の高騰やドライバー不足に対する手当、車両の高齢化における修理費の増加等でとても苦しい状況ですが、何とか乗り切っていきたいです。（一般貨物自動車運送業）
道央	・燃料価格に政府が補助金を拠出しているが、販売価格に反映されていないと思うので、運送事業者に燃料費の補助をして欲しい。コロナ対策は、観光関係ばかり優遇されて、不公平感のある片手落ちの対策だと感じる。（一般貨物自動車運送業） ・人材育成に重点を置き、バスも含め資質の向上を図りたい。（一般貸切旅客自動車運送業）

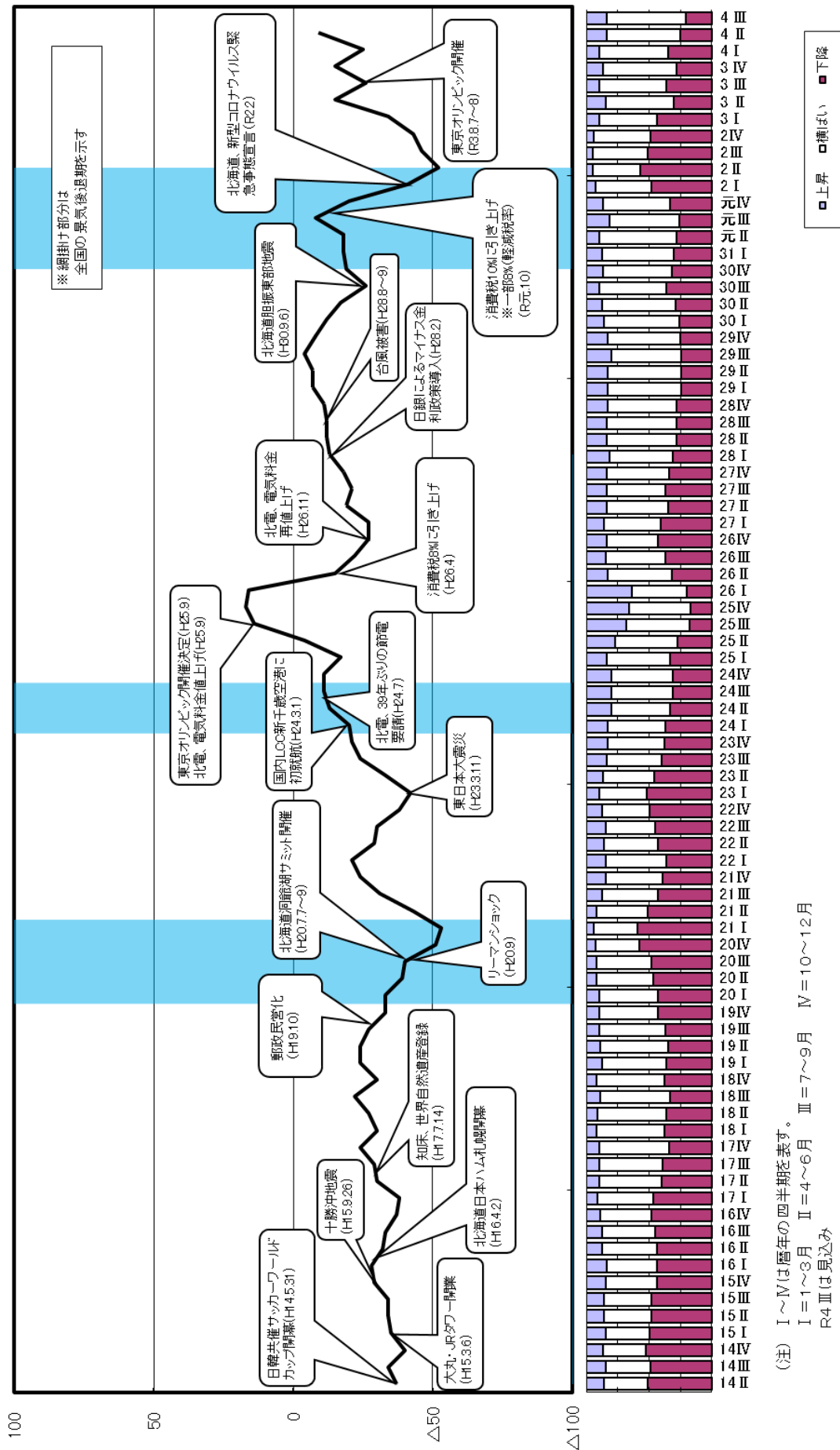
道北	・バス利用者が減少している中、地域の生活を支えるべく、輸送力は維持しなければならないため、燃料価格の高騰が経営に大きな悪影響を与えている。行政には、燃料価格の高騰に対する直接的な支援をお願いしたい。また、乗務員不足が深刻の度を増しており、現在の輸送体制を維持することが困難な状況となってきたので、大型二種免許取得費用に係る支援をお願いしたい。（一般乗合旅客自動車運送事業）
オホーツク	・運賃の値上げ申請において、エリア内台数の7割に達しなければ受け付けられないというシステムが問題です。（一般乗用旅客自動車運送業） ・小規模トラック運輸業者は、燃料費の高騰を理由に運賃を上げることは簡単ではないので、燃料価格を安定させる政策を望みます。（一般貨物自動車運送業） ・固定費が上がる中、燃料等の変動費も値上がりしている。人口が少ない地域にも目を向けて欲しい。（一般乗用旅客自動車運送業） ・先行きの見通しがつかない状況の中で、中小企業への早期の対策を期待します。（一般貸切旅客自動車運送業）
十勝	・燃料価格の高騰、ドライバー不足が課題です。（一般貨物自動車運送業） ・社員の高齢化が進んでいるが、人員を募集しても若い社員が入って来ない。会社の社会的責任を考えると、会社継続に向けて策を講じなければならないが、このままだと、数年後には現在の仕事が継続できなくなってしまう。（一般貨物自動車運送業） ・補助金の拡充を望む。（一般乗用旅客自動車運送業）
釧路・根室	・新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せはじめた矢先に、世界情勢が変化し、景気の回復は難しいと感じます。当社は物流業務ですので、一番の影響は燃料価格上昇による経費の増加です。価格から補助金分が減額されているため、何とか耐えている状況ですが、運賃アップや燃料サーチャージを受け入れていただける先が無いため、限界に近づきつつあります。しかし、ただ待っているだけでは問題解決には至りませんので、新型コロナウイルスの感染症の影響でテレワークの導入が進み、働き方の変容が進んだように、当社でも新しい働き方ができないかを模索中です。（一般貨物自動車運送業） ・コロナ禍での生活様式の変化と定着により、街全体の先行きも見えない中、ウクライナ問題による地元漁業者の不安感、石油価格高騰による経営への圧迫感なども重なり、非常に厳しい状況にある。（一般乗用旅客自動車運送業） ・原油や運輸業に関わる工業製品が軒並み高騰し、経営が圧迫されている。軽油、タイヤ、オイル等を使用しないと仕事にならないため、製品や運賃に転嫁できれば良いが、それにも限界があるため、車輛の台数を減らすか、人員の削減等より一層のコストダウンをしていかなければならない。（一般貨物自動車運送業）

【サービス業】

道南	・コロナの影響が続き、景気の回復も見込めない中、地域の活性化策として最優先で取り組むべきなのは、企業誘致と減税により、人口と企業・工場を増やすことだと思います。国の支援を受けた活性化を期待しております。（電気通信に附随するサービス業） ・直近での悩みは人手不足です。（旅館、ホテル） ・観光客の増加策を期待します。（タワー搭乗、土産品等小売業） ・後継者不在、高齢化が課題です。（自動車整備業）
道央	・新型コロナウイルスの影響により、外食・観光業は非常に大きな影響を受けました。今期に入り、ようやくコロナ前の水準に少しずつ戻り始めているものの、まだまだ回復が出来ていないのが現状です。行政には、インバウンドの受入れ、道内外からの観光客の機会創出、需要拡大を期待します。具体的には、現在も行っている「どうみん割」などの助成事業を 2023 年末頃まで継続していただきたいです。（飲食店） ・大きな変革のタイミングに来ている。その変化に真っ先に対応して、取引先の信頼を拡大していきたい。（広告業） ・生産性増加につながる働き方を模索しています。また、メタバースがビジネスになるか注目しています。（広告業） ・公衆浴場のため、入浴料を値上げできず、非常に苦しい。（一般公衆浴場業） ・固定資産税の減税を望む。（旅館、ホテル） ・新型コロナウイルス感染対策や半導体不足の解消を期待します。（情報処理・提供サービス業） ・新規・中途ともに人員不足です。（自動車一般整備業） ・新型コロナウイルス感染症対策融資制度の無利息返済期限の延長を望む。（測量業） ・先月頃より、感染症対策の徹底のもと、企業の経済活動及び観光・レジャーに対する積極性が見られ、需要が高まりつつあります。しかし、感染症第7波到来の報道もあり、安心はできません。また、昨今起こる「異常気象」の類も、当社営業に大きく影響をしております。（旅館、ホテル） ・観光業等の支援、景気回復を期待します。（自動車整備業） ・重油・電力の高騰がこのまま続けば死活問題である。電力自由化によりコストの削減を進めてきたが、契約先からコスト高を理由に電力事業（高圧電力契約）から撤退するとの通知があり、大変困っている。国の施策、今後の方針が明確に伝わってこないことがもどかしい。（旅館・ホテル） ・コロナ禍の終息も見えない中、ウクライナ情勢により様々な資源が不足しており、仕入価格の高騰や納期が見通せないなど、対応に追われる状態が続いています。資源や部品の安定供給が早期に回復するよう、行政の対策を期待しています。（産業用機械器具賃貸業） ・多方面の値上げにより、美容業は節約対象となっています。外出の機会の減少による打撃も大きいです。賃上げや減税などの対策がない限り、景気は変わらないと思いますので、これらの課題について真剣に対策をお願いしたいです。（美容業）
道北	・新型コロナウイルス感染症の抑制、終息に向けた迅速な対応とともに、観光事業に対する需要喚起と補助金に限らず、旅行・外出に対する雰囲気醸成、また労働力人口の拡大を期待します。（旅館、ホテル） ・旅行業界においては、インバウンドの受け入れが今後の売上増加を左右すると考えている。そのためにも、各航空会社へ北海道への直行便乗り入れ要請、各発地（東アジア地域）へのプロモーションの再開を望む。国内旅行においては、修学旅行やバス旅行の復活のための助成、レンタカー利用については、外国人や日本人の年配者でも理解できる交通案内標識やカーナビシステムの構築を後押ししてもらいたい。（旅館、ホテル） ・飲食店が利用されるように行政の働きかけをお願いしたい。（旅館、ホテル） ・公共事業の抑制や発注の遅れが懸念される。（土木建築サービス業（測量業））

オホーツク	・事業継続が課題です。(自動車整備業)
十勝	・業績は概ね横ばいに推移しているが、社内の基幹システムの更新に伴う投資や社内ＤＸの推進等でコストがかかるため、経費の削減による収益確保が当面の課題です。(土木建築サービス業（建築設計業）)
釧路・根室	・求人情報誌等を活用して求人活動を行っても、地方中小企業への応募者が少なく、人材不足です。地方出身者が大学や専門学校を卒業後に、地元企業で就職するような仕組みづくりが必要と考えます。(土木建築サービス業)

8 業況感の長期推移

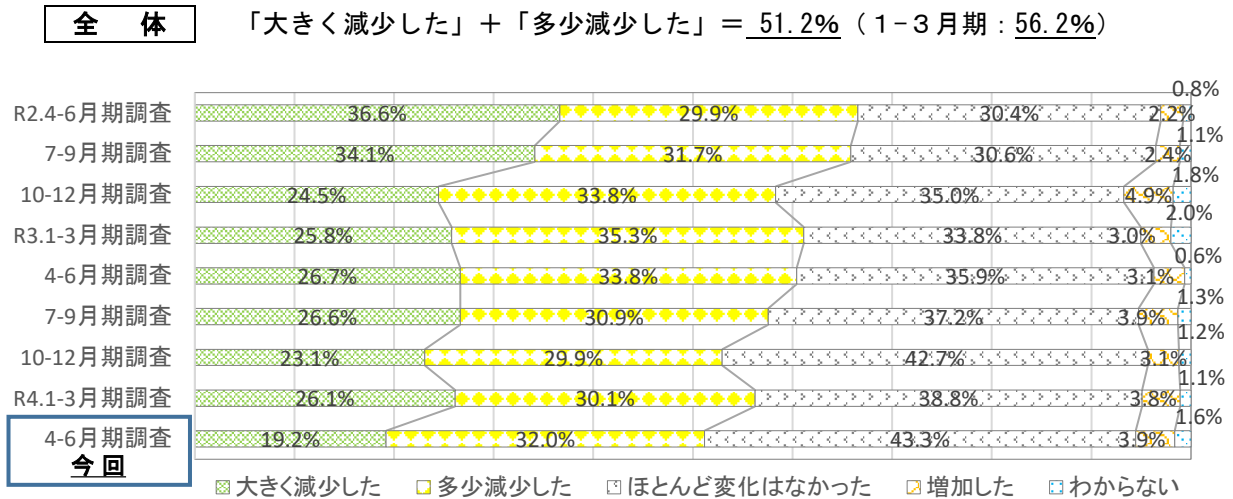


3 特別調査

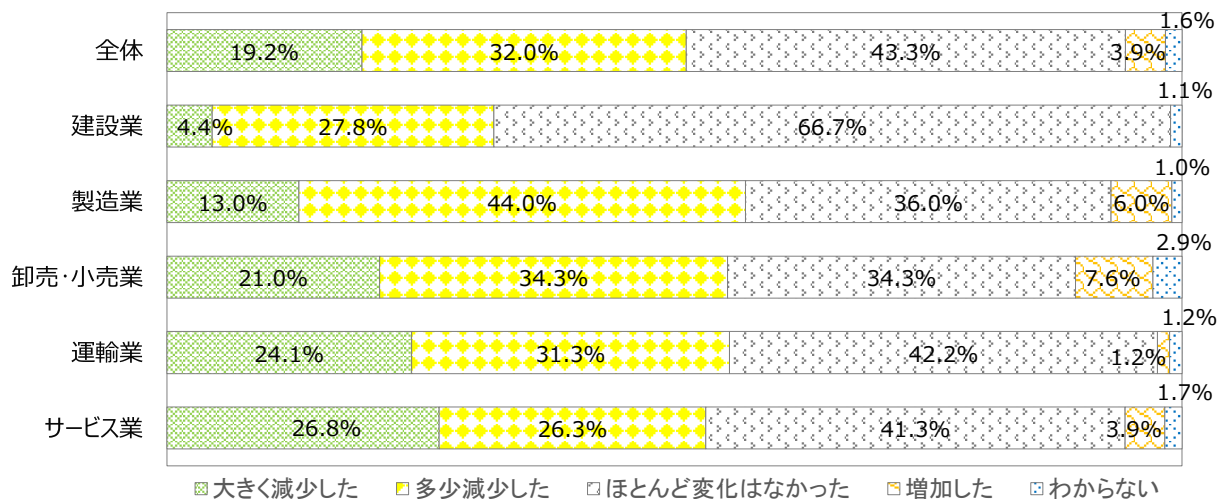
1 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大による売上・利益等への影響の程度

平年の同時期と比較した本年4～6月における売上・利益等への影響については、全体では「大きく減少した」と回答した企業の割合が19.2%、「多少減少した」が32.0%と、合わせて51.2%の企業が「減少した」と回答しており、前回調査（1～3月期）との比較では、「減少した」の割合は5.0%ポイント改善。



業種別では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は、サービス業が26.8%と最も大きく、次いで運輸業が24.1%となっており、建設業が4.4%と最も小さくなっている。

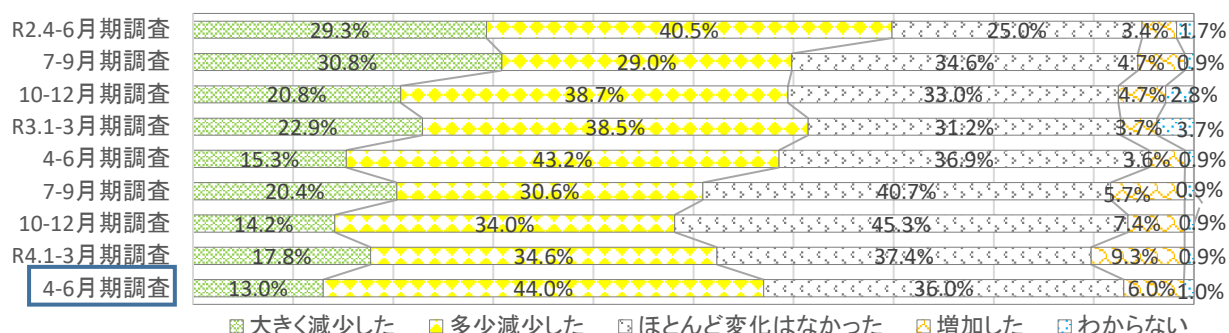


前回調査（1-3月期）との比較では、「大きく減少した」と「多少減少した」と合わせた「減少した」の割合は、建設業、製造業で拡大し、卸売・小売業、運輸業、サービス業で縮小。

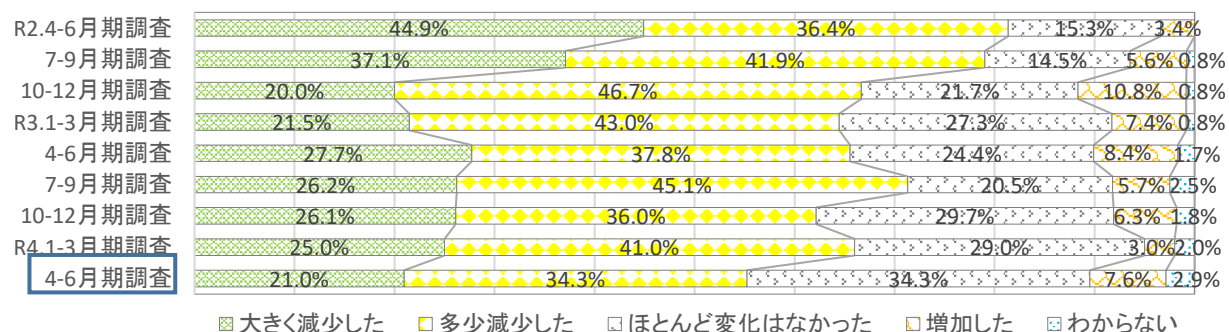
建設業 「大きく減少した」＋「多少減少した」32.2%（1-3月期 30.6%）1.6ポイント拡大



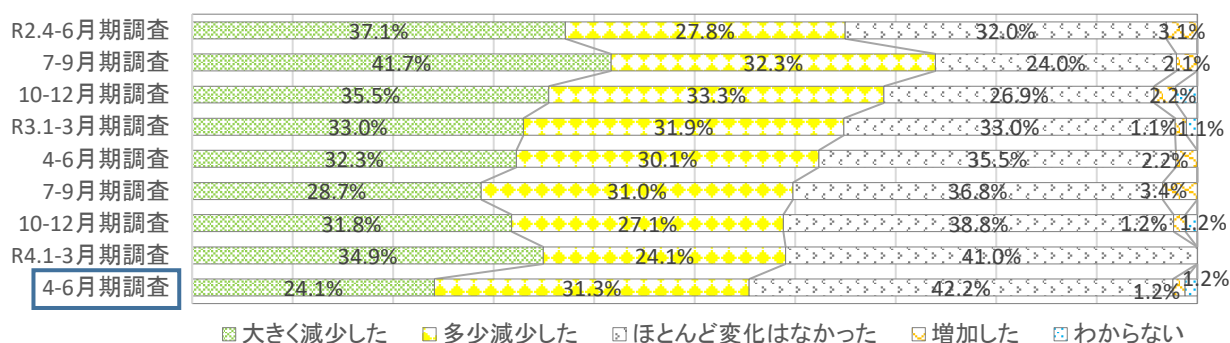
製造業 「大きく減少した」＋「多少減少した」57.0%（1-3月期 52.4%）4.6ポイント拡大



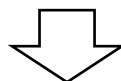
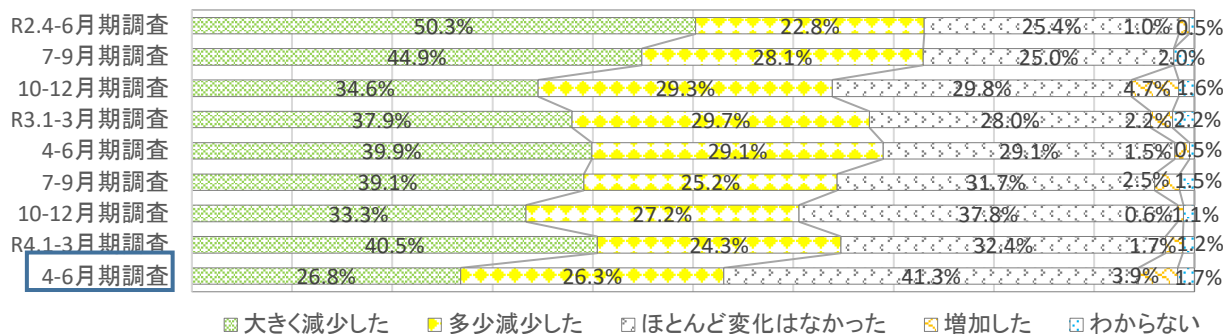
卸売・小売業 「大きく減少した」＋「多少減少した」55.3%（1-3月期 66.0%）10.7ポイント縮小



運輸業 「大きく減少した」＋「多少減少した」55.4%（1-3月期 59.0%）3.6ポイント縮小

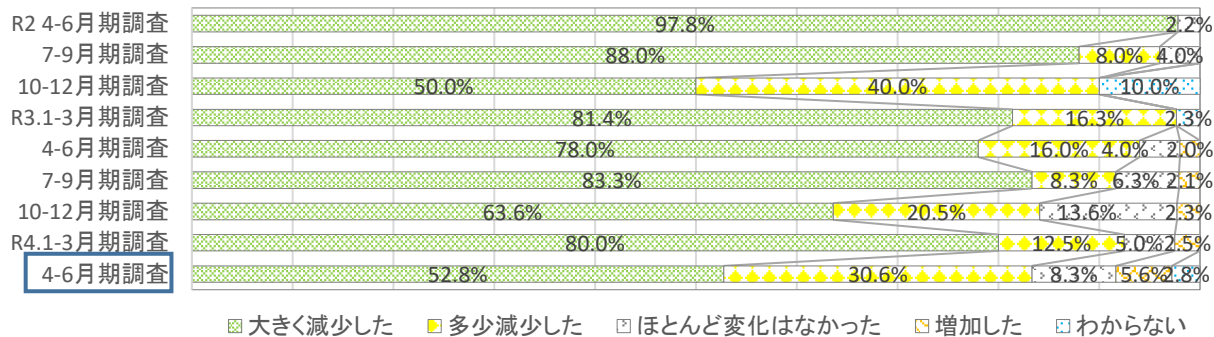


サービス業 「大きく減少した」＋「多少減少した」 53.1%（1-3月期 64.8%）11.7ポイント縮小

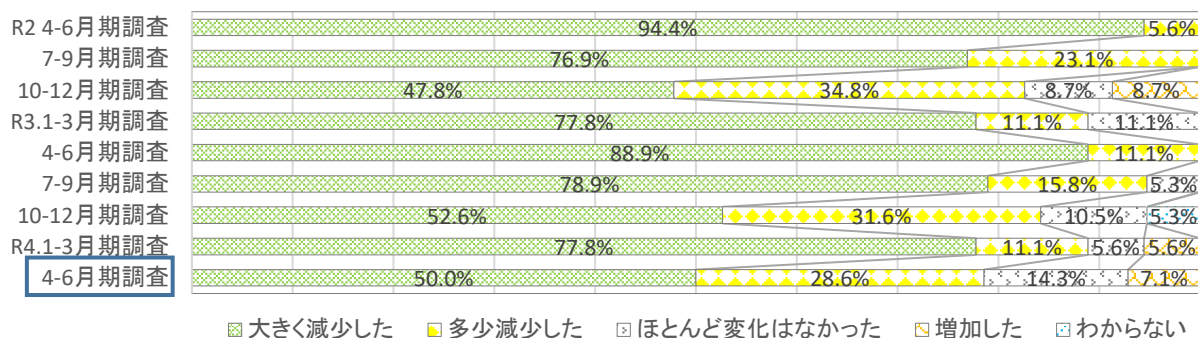


（サービス業のうち）

宿泊・旅行業 「大きく減少した」＋「多少減少した」 83.4%（1-3月期 92.5%）9.1ポイント縮小



飲食業 「大きく減少した」＋「多少減少した」 78.6%（1-3月期 88.9%）10.3ポイント縮小

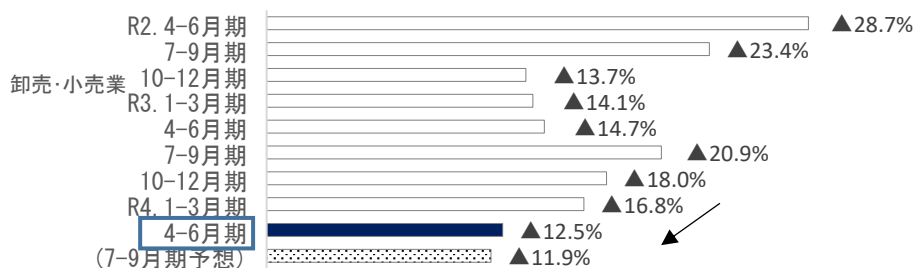
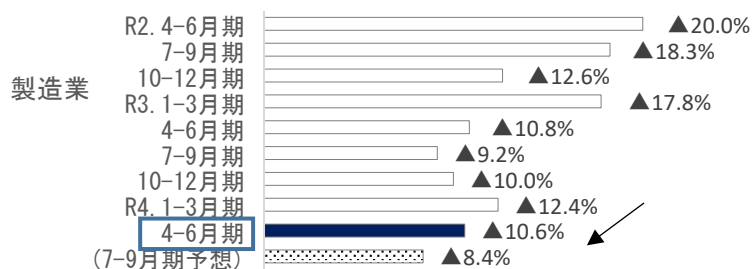
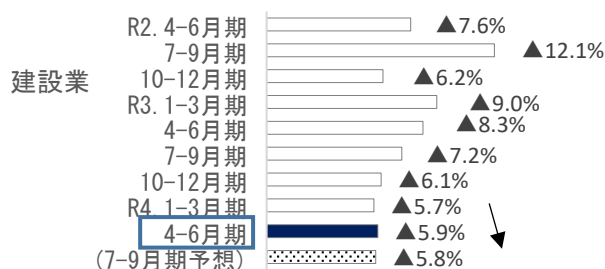
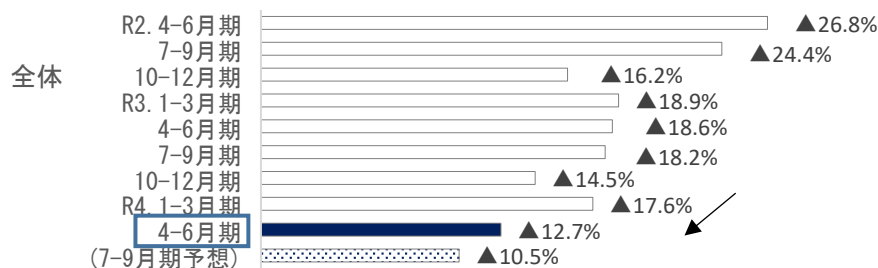


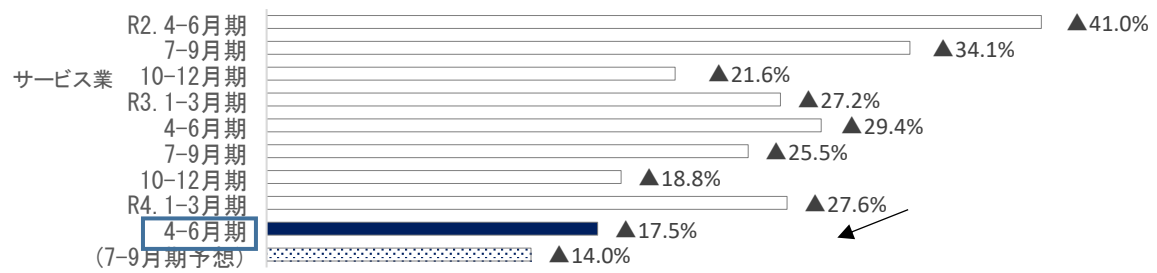
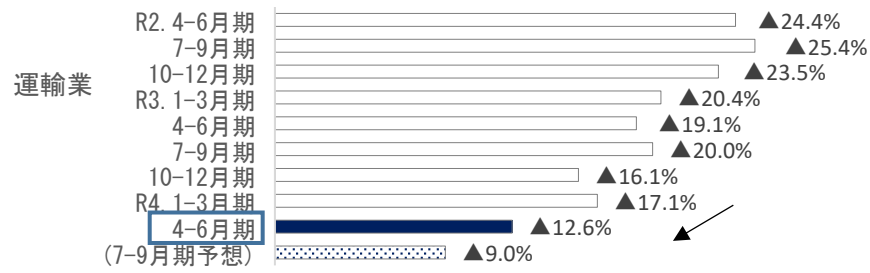
(2) 売上の平年同期比減少率

令和4年4-6月期の売上の平年同期比増減率は、全体平均では▲12.7%となり、業種別では、サービス業が▲17.5%と最も減少率が大きく、次いで運輸業が▲12.6%となっている。

前回調査（1-3月期）との比較では、全体で4.9ポイント改善しており、業種別では、建設業が0.2ポイント悪化したのを除いて、サービス業が10.1ポイント、運輸業が4.5ポイント、卸売・小売業が4.3ポイント、製造業1.8ポイント、それぞれ改善している。

令和4年7-9月期の予想は、全体で2.2ポイントの改善となり、業種別でも、全ての業種で改善となっている。

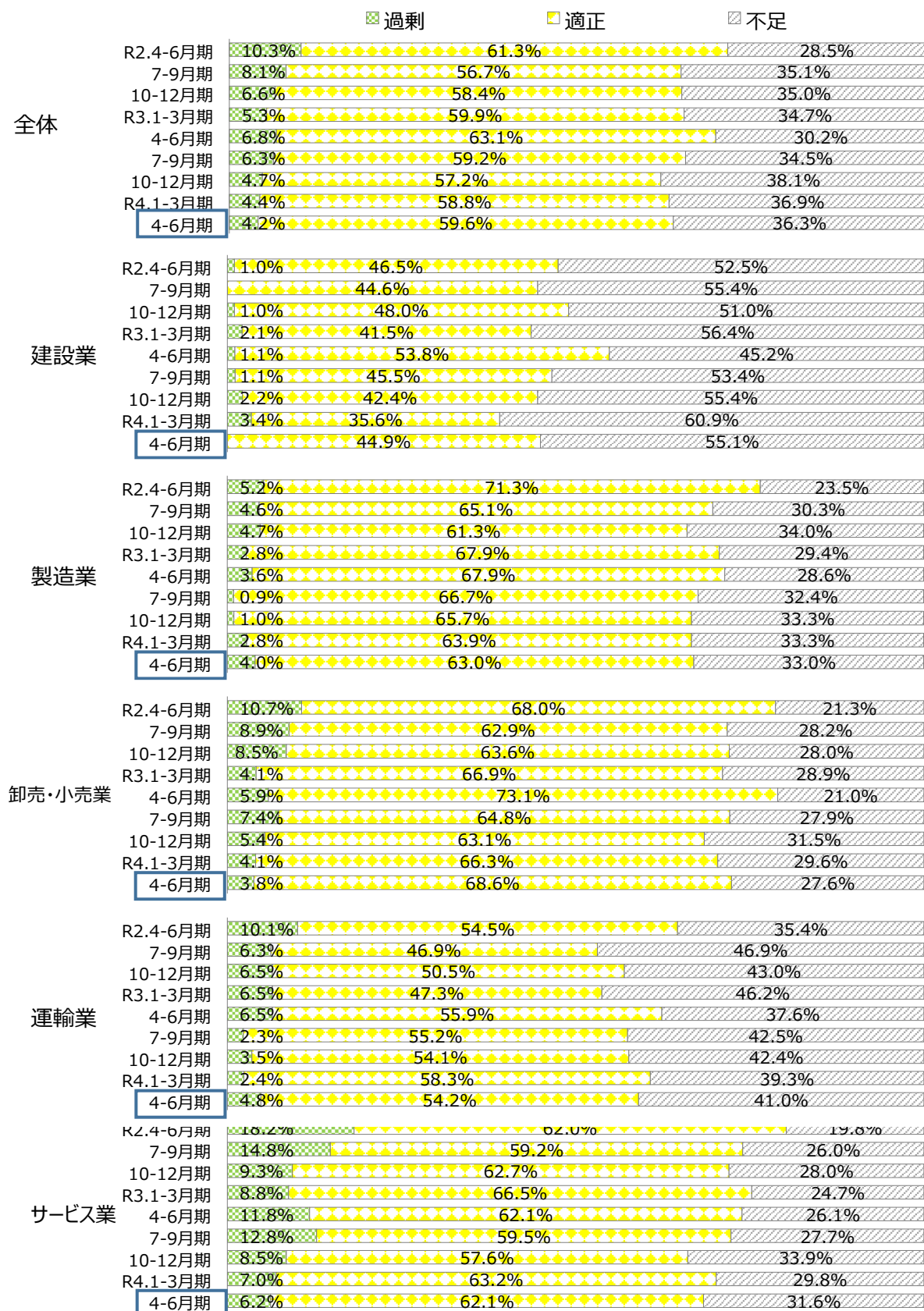




(3) 正規及び非正規従業員の過不足感

① 正規従業員

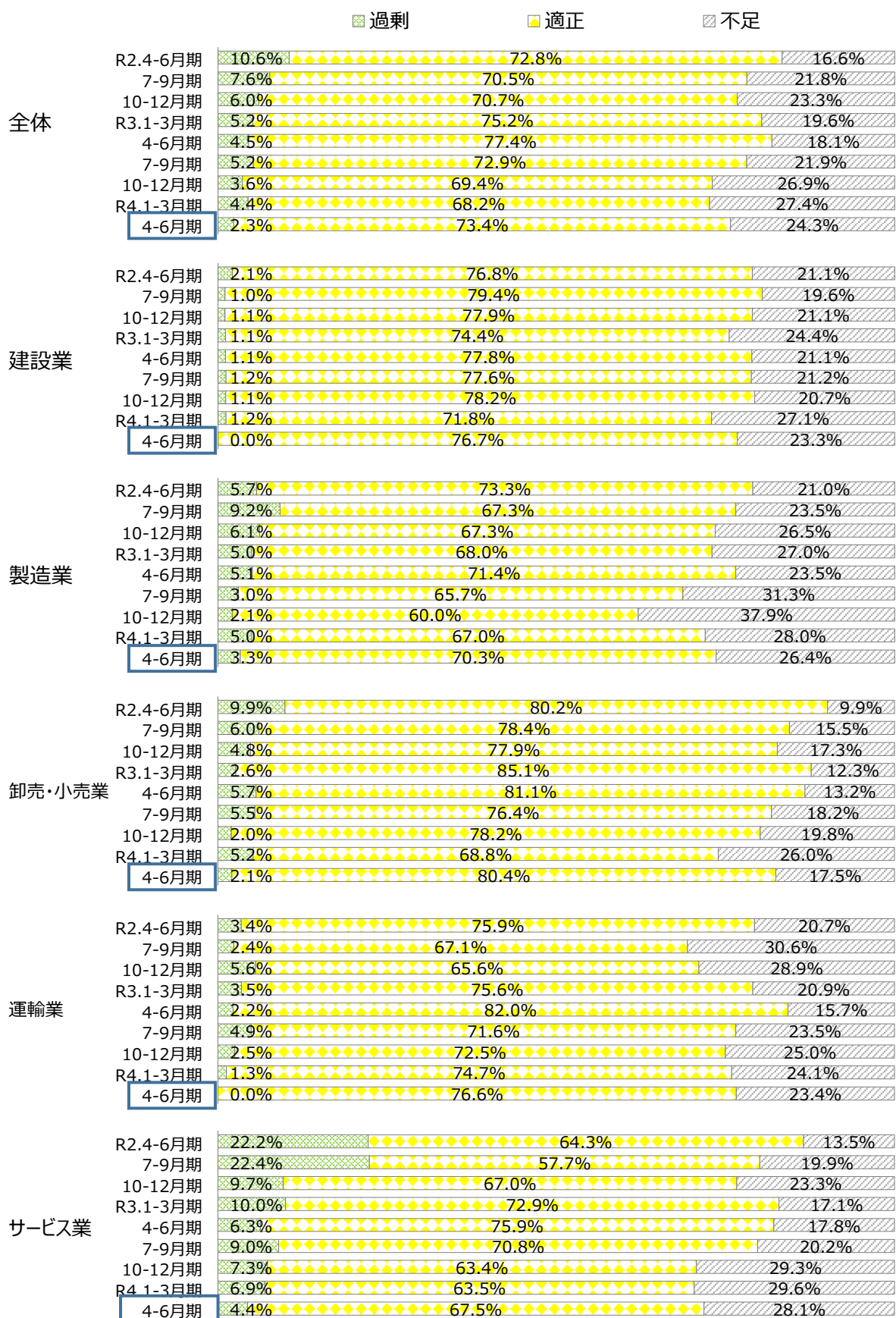
正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」の割合が 4.2%、「適正」が 59.6%、「不足」が 36.3%となっており、不足感が過剰感を上回っている。前回調査（1-3 月期）との比較では、「不足」の割合は全体で 0.6%縮小したが、建設業では高水準が続き、運輸業及びサービス業で拡大。また、「過剰」の割合は全体で 0.2%縮小したが、製造業、運輸業で拡大。



②非正規従業員

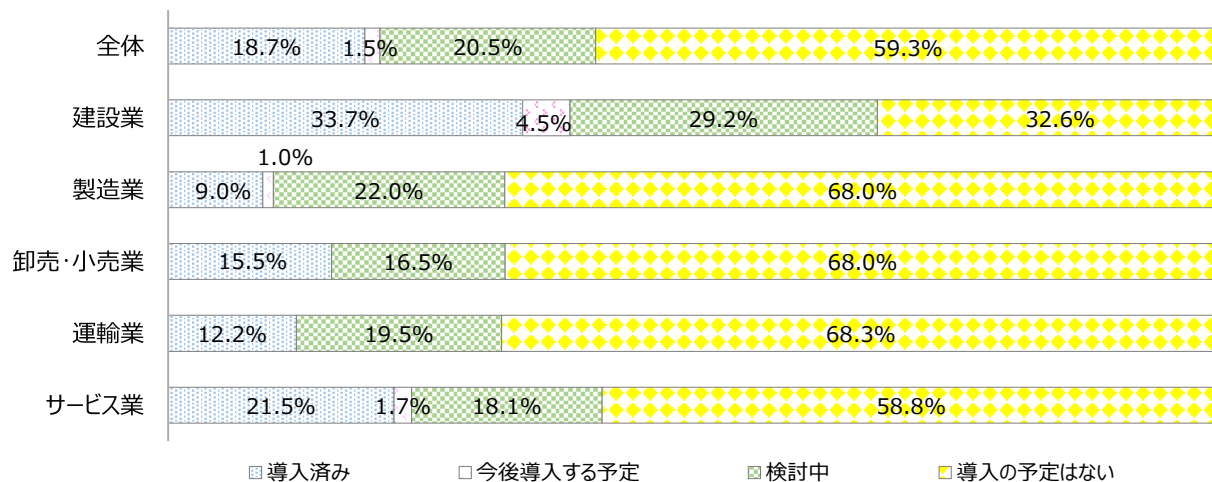
非正規従業員の過不足感については、全体では「過剰」の割合が 2.3%、「適正」が 73.4%、「不足」が 24.3%となっており、不足感が過剰感を上回っている。

前回調査（1-3 月期）との比較では、「不足」の割合は、全体で 3.1%縮小し、全ての業種で縮小しており、また、「過剰」の割合についても、全体で 2.1%縮小し、全ての業種で縮小。



(4) テレワークの導入状況

接触機会の低減策として有効なテレワークの導入については、「導入済み」と回答した企業の割合は、全体では18.7%となり、業種別では、建設業が33.7%と最も大きく、製造業が9.0%と最も小さくなっている。

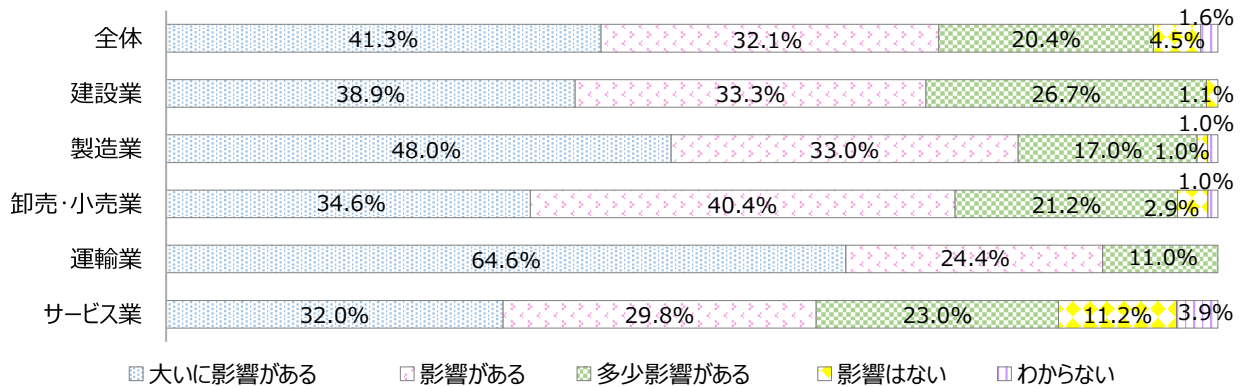


2 原油・原材料価格高騰の影響について

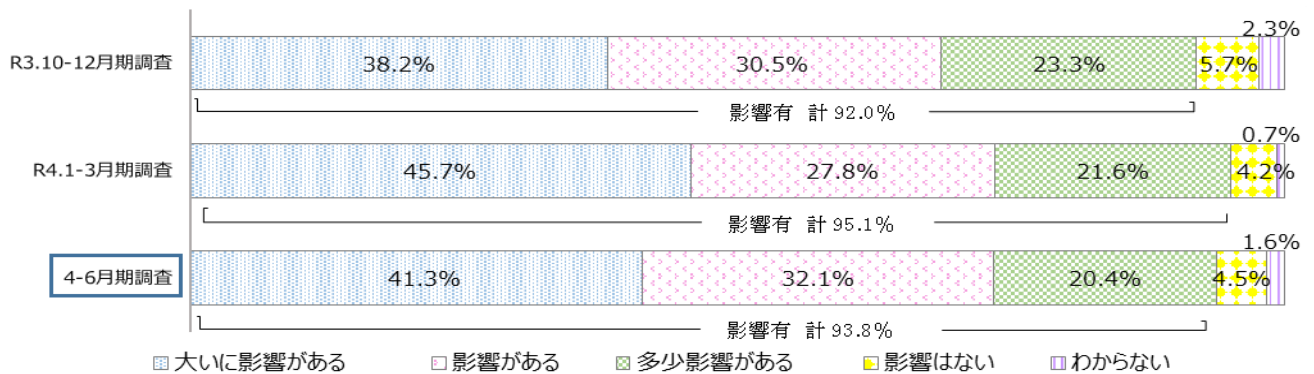
(1) 経営への影響

原油・原材料価格高騰の経営への影響については、全体では「大いに影響がある」と回答した企業が41.3%、「影響がある」の32.1%、「多少影響がある」の20.4%と合わせて、93.8%の企業が「影響がある」と回答している。

業種別でみると、「大いに影響がある」と回答した企業の割合は、運輸業が64.6%と最も大きく、次いで製造業が48.0%となっており、サービス業が32.0%と最も小さくなっている。

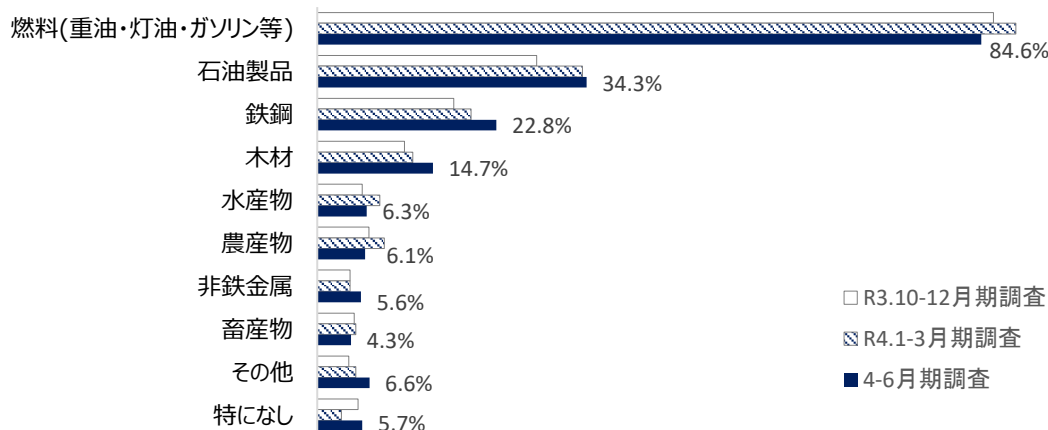


前回調査と比較すると、「大いに影響がある」と回答した企業の割合は縮小しているものの、「大いに影響がある」「影響がある」「多少影響がある」を合わせた「影響がある」と回答した企業の割合は、9割を超え、高い水準で継続している。



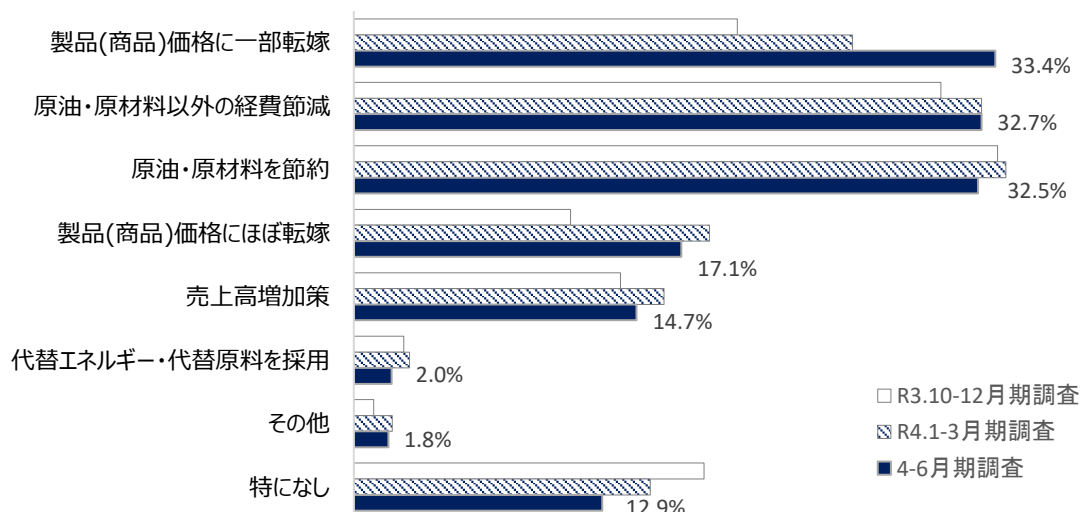
(2) 経営に影響を与えている品目

経営に影響を与えている品目について最も多かった回答は、「燃料(重油・灯油・ガソリン等)」の84.6%で、次いで「石油製品」が34.3%、「鉄鋼」が22.8%となっている。(複数回答)

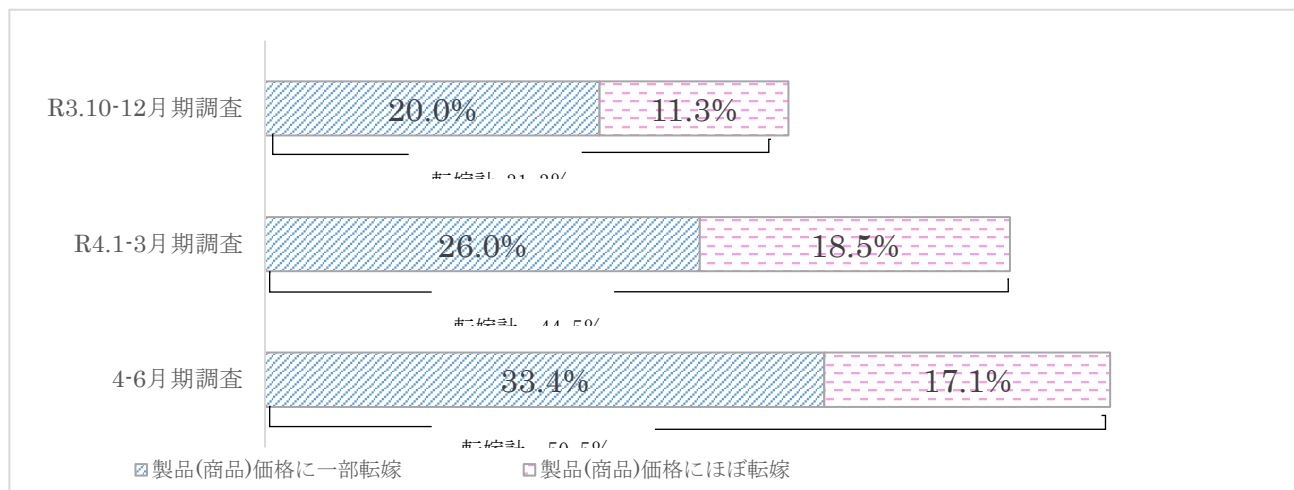


(3) 経営への影響緩和対策

経営への影響緩和対策について最も多かった回答は、「製品(商品)価格に一部転嫁」の 33.4%で、次いで「原油・原材料以外の経費節減」が 32.7%、「原油・原材料を節約」が 32.5%となっている。(複数回答)

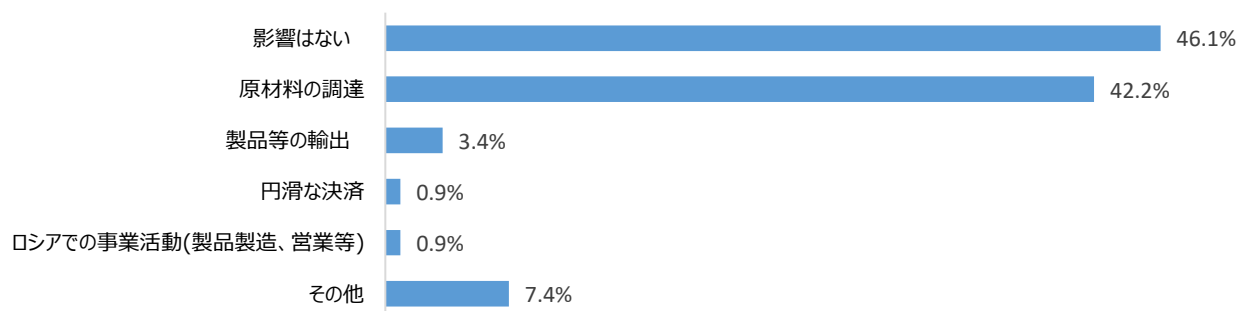


これまでの調査と比較すると、「製品(商品)価格に一部転嫁」「製品(商品)価格にほぼ転嫁」を合わせた「価格に転嫁した」と回答した企業の割合は拡大している。



3 ウクライナ情勢による事業への影響について

ウクライナ情勢による事業への影響については、46.1%が「影響はない」と回答しているものの、影響として最も多かった回答は、「原材料の調達」の 42.2%となっている。(複数回答)



4 調査方法

1 調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

2 調査時点

令和4年6月30日

3 調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

4 調査対象及び回答企業数

区 分		調 査 対 象 企業数 (A)	回 答 企業数 (B)	回答率 (B/A・%)
総 計		900	561	62.3
	札幌市を除く	701	433	61.8
	札幌市	199	128	64.3
業 種	建設業	125	90	72.0
	製造業	150	101	67.3
	卸売・小売業	188	105	55.9
	運輸業	131	83	63.4
	サービス業	306	182	59.5
資 本 金	5千万円未満	618	370	59.9
	5千万以上～1億円未満	156	112	71.8
	1億円以上	126	79	62.7
地 域	道南	109	68	62.4
	道央	382	245	64.1
	札幌市を除く	183	117	63.9
	札幌市	199	128	64.3
	道北	132	86	65.2
	オホーツク	89	44	49.4
	十勝	94	59	62.8
	釧路・根室	94	59	62.8

(注) [道南]・・・渡島総合振興局、檜山振興局
 [道央]・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
 [道北]・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
 [オホーツク]・・・オホーツク総合振興局
 [十勝]・・・十勝総合振興局
 [釧路・根室]・・・釧路総合振興局、根室振興局

5 B S I (Business Survey Index) 指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「上昇」の選択肢により調査し、各B S I 指標を次により算出。

$$B S I = (\text{「上昇」とする企業の割合} (\%)) - (\text{「上昇」とする企業の割合} (\%)) \\ (-100 \leq B S I \leq 100)$$

【計算例（企業数：200社）】

業況感について、「上昇」とした企業20社、「横ばい」とした企業120社、「上昇」とした企業60社の場合

$$\frac{20 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 - \frac{60 \text{ 社}}{200 \text{ 社}} \times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感B S I はマイナス20 ※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。北海道

企業経営者意識調査（第 134 回）

令和 4 年 7 月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
T E L 011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/bsi.html>